

戻る

創立50周年記念誌 1966-2016

国際ロータリー第2790地区
富津中央ロータリークラブ



バナー



バナー解説／富津市中央に位置する弁天山古墳は千葉県古墳群最南端の前方後円墳であり、特に石棺を覆う三枚の蓋石の中で両端に突起を持つものは、極めて珍しい形式であり国指定第一級の文化財であります。本バナーはこの古墳の型及び特徴ある蓋石を日展審査員青木滋芳氏に依頼して図案化し製作したものです。

刊行の言葉

創立50周年記念大会

大会委員長 志波 克



池田首相の「所得倍増計画」が順調に進み、東京オリンピックが終了し、カラーテレビ、クーラー、カーの「新三種の神器」が持て囃された頃、我がクラブは誕生しました。

昭和41年10月13日、木更津RCを親クラブに、笠原文雄会長、刈込碩弥幹事以下、総勢33名での発足でありました。

以来、5年毎の周年記念行事を続ける事、10回。ここに目出度く創立50周年を迎えました。

クラブ名は「大佐和ロータリークラブ」から「富津中央ロータリークラブ」へ、会員は増減を繰り返しつつ入れ替わり、チャーターメンバーは不肖私1名のみに、会場も「さざ波館」から現在の「いち川旅館」に変わりました。

そうした変化の中、創立以来脈々と受け継がれて来た変わらないものが、当クラブの「明るさ」、「居心地の良さ」、「開放感のある雰囲気」であります。これは今回の祝賀行事にも十分発揮され、ご参会の皆様からも素晴らしい大会であったとお言葉を多数頂き、会員一同奉仕の機会を広げ得た喜びに浸っております。

時の経済情勢の影響で、35周年を最後に40、45周年と奉仕事業の執行と記念誌の発行のみで過ごして来ましたが、この50年という節目の年に、榎本守男会長のリーダーシップの元、高橋裕之実行委員長の強力な推進力に会員一同心を合わせ、また会員夫人で構成された女子会の積極的な協力を得て、この様に立派な祝賀会を開催し、多くの奉仕事業を遂行できたことは大変喜ばしく、また会の準備と開催で得られた会員相互の連帯感、親睦の深まりは、クラブの大きな資産になりました。

ここに盛大な50周年記念大会の余韻を楽しみながら、記念誌を編集、刊行できることはクラブ会員一同の喜びであり、このささやかな冊子が、我が富津中央ロータリークラブの奉仕の理念を一層高め、クラブのさらなる発展の一助となることを期待します。

最後になりましたが、青木貞雄ガバナー始め、多くのご参会の皆様のおかげで楽しく充実した祝賀会が開催できましたことに深く感謝申し上げます、刊行の言葉と致します。

目 次

刊行の言葉 大会委員長 志波克	1
大会プログラム	3
ご来賓一覧	4
祝辞	5
歓迎の言葉 富津中央RC会長 榎本守男	6
RI 会長メッセージ RI 会長 John F. Germ	7
100 年に向けて 第 2790 地区ガバナー 青木貞雄	8
さらなる飛躍を 富津市長 高橋恭市	9
共に活発な活動を 木更津RC会長 成川芳明	10
貴社社運昌隆！ 嘉義南区RC会長 張進哲	11
益々の発展を 塩山RC会長 小澤顕	12
写真集	13
大会実行委員会名簿	25
創立 50 周年記念大会を終えて 実行委員長 高橋裕之	26
クラブの沿革と現況	27
歴代会長・幹事一覧	28
50 年の足跡写真集	29
直前 5 年間の活動記録	39
第 47 代会長 高橋裕之	40
第 48 代会長 須藤隆	41
第 49 代会長 若鍋武良	42
第 50 代会長 千葉一利	43
第 51 代会長 榎本守男	45
投稿	47
感謝光臨 嘉義南区扶輪社 榎本守男	48
あれから 40 年 石渡鋼	51
50 周年に思う 千葉一利	52
私とロータリー 志波克	53
ロータリークラブと私 高島治雄	54
創立 50 周年の思い出 三枝一雄	55
会員紹介	57
編集後記	74

50周年記念祝賀会プログラム

記念式典	司会／鈴木 勉 中新友里花
10:00 登録開始	
11:00 点鐘	富津中央ロータリークラブ会長 榎本守男
ソング	ソング・リーダー／平野安照 ピアノ伴奏／栗原典子
	日本国国歌 君が代 中華民国国歌 三民主義
	ロータリーソング 奉仕の理想
物故会員黙祷	司会
来賓紹介・クラブ紹介	司会
会長挨拶	富津中央ロータリークラブ会長 榎本守男
50年の足跡	映写機投影
祝辞	国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木貞雄 様 富津市長 高橋恭市 様 木更津ロータリークラブ会長 成川芳明 様 嘉義南区ロータリークラブ会長 張 進哲 様 塩山ロータリークラブ会長 小澤 顕 様
祝電披露	司会
記念事業紹介・目録贈呈	富津中央ロータリークラブ会長 榎本守男より 富津市教育長 岡根 茂 様へ 元交換学生 ジャッキー・ルーニー（代）より 国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木貞雄 様へ
記念品・感謝状贈呈	富津中央ロータリークラブ会長 榎本守男より 創立会員・長寿会員 志波 克 長寿会員 高島治雄 千葉一利 三枝一雄
12:25 点鐘	富津中央ロータリークラブ会長 榎本守男
	— 休憩 —
祝宴	司会／栗原典子 渡辺哲夫
12:40 歓迎吹奏楽	大貫中学校吹奏楽部
13:00 開演	司会
挨拶・乾杯	国際ロータリー第2790地区第4分区ガバナー補佐 小野恒靖
歓迎演奏	嘉義南区RC・サクソス団 月亮代表我的心 愛人 川の流れのように 望春風 嘉義南区RC御夫人舞踏 站在高崗上 富津中央RCバンド ブルーシャトー 雨の御堂筋 プロ・サクソス・プレイヤー WAKANA
斉唱 故郷	伴奏／ハーモニカ・大網庄一郎 ピアノ・栗原典子
手に手つないで	ソング・リーダー／高島治雄 ピアノ伴奏／栗原典子
15:00 閉宴	司会

記念式典ご来賓

富津市長	高橋恭市様	地区委員会委員長	高橋潤一様
富津市教育長	岡根 茂様	地区委員会委員長	富 一美様
(株)キミカ社長	笠原文善様	地区委員会委員長	山内尚美様
ガバナー	青木貞雄様	地区委員会委員	風沢俊夫様
パストガバナー	秋元秀夫様	第4分区ガバナー補佐	小野恒靖様
パストガバナー	鈴木雅博様	第5分区ガバナー補佐	鈴木洋一様
パストガバナー	白鳥政孝様	第7分区ガバナー補佐	鈴木勝彦様
パストガバナー	山田修平様	第9分区ガバナー補佐	高橋宏一様
パストガバナー	宇佐美透様	米山奨学生	李 俊享様
ガバナーエレクト	寺島哲生様	元会員	平川恵敏様御夫妻

台湾嘉義南区ロータリークラブ	会長 張 進哲様	以下 24名様
塩山ロータリークラブ	会長 小澤 昭様	以下 5名様
船橋西ロータリークラブ	会長 田邊篤志様	以下 2名様
千葉南ロータリークラブ	会長 伊藤和夫様	
市原ロータリークラブ	会長 西村芳雄様	
大網ロータリークラブ	会長 四之宮由己様	
成田航空南ロータリークラブ	会長 渡邊孝文様	以下 2名様
銚子ロータリークラブ	会長 島田洋二郎様	以下 2名様
印西ロータリークラブ	齋藤 雅様	以下 2名様
八千代ロータリークラブ	会長 風間 茂様	以下 4名様
木更津ロータリークラブ	会長 成川芳明様	以下 6名様
上総ロータリークラブ	会長 唐鎌恒治様	以下 3名様
袖ヶ浦ロータリークラブ	会長 徳本浩俊様	以下 6名様
木更津東ロータリークラブ	会長 林孝二郎様	以下 10名様
君津ロータリークラブ	会長 鈴木荘一様	以下 6名様
富津シティロータリークラブ	会長 和田充敏様	以下 12名様

* 記念式典出席者数 145名 (ホストクラブ含む)



祝 辞

富津中央ロータリークラブ会長 ----- 榎本守男

国際ロータリー会長 ----- ジョン F. ジャーム

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー ----- 青木貞雄

富津市 市長 ----- 高橋恭市

木更津ロータリークラブ会長 ----- 成川芳明

嘉義南区ロータリークラブ会長 ----- 張進哲

塩山ロータリークラブ会長 ----- 小澤顕



歓迎の言葉

富津中央ロータリークラブ

2016-17年度 第51代 会長 榎本守男

本日は富津中央ロータリークラブ創立50周年記念式典にご出席いただきありがとうございます。富津市長高橋様をはじめ御来賓の皆様、ロータリー関係では、国際ロータリー第2790地区ガバナー青木貞雄様はじめ多くのロータリアンの出席を頂きました事、厚く感謝申し上げます。

台湾より姉妹クラブの嘉義南RCの皆さん25名、山梨より姉妹クラブの塩山RCの皆さんの出席を賜りこのように盛大に記念式典を開催できますことは誠に光栄な事があります

先ず遠路台湾より来ていただいた嘉義南ロータリークラブの皆さんにお礼を申し上げますさせていただきます。

大家好嘉義南区扶輪社 為慶祝富津中央扶輪社50周年記念 非常感謝大勢光臨

有朋至遠方來 希望未來感謝友誼永在由心中感謝

記念すべき50年という節目の年に会長を務めさせていただき責任の重さを痛感しております。

富津中央RCは木更津ロータリークラブをスポンサークラブとして1966年10月13日認証状を頂きました。木更津クラブより笠原文雄氏を初代会長として迎え2年半、そのリーダーシップの下でロータリーの精神を植え付けていただきました。

現在チャーターメンバーは志波克会員一人のみです。大先輩から聞く笠原初代会長の思いの詰まった言葉は笠原語録として今も伝えられています。「ロータリーは毎週数時間を費やすだけの価値があるだろうかと自問した時、私は十分に答えは出せないが、ロータリーにおいて何事にも勝る多くの美しき友情を得たと誇れる」と自答されました。更に「美田は残さず、平和の種を蒔こう」と語られています。

当時を思い出すと 乾杯あるいは中締めという言葉は「世界の平和を祈念して」でした。これらの笠原語録こそ私達の原点になっています。

会員同士の深い信頼と友情によって築かれた精神を引き継ぎ次の世代に繋ぐことこそ私達の使命だと感じています。

創立50周年を迎えた私達は、地域社会に期待され世界の平和にも貢献できるクラブでありたいと願ってこれからも活動をしてまいります。

今回の記念事業は「次代を担ってくれる少年達への贈り物」とし富津市の教育委員会に寄付させていただきました。今後とも、富津中央ロータリークラブに変わらぬご指導、ご鞭撻を頂きます様よろしくお願い申し上げますと共に世界の平和を祈念して挨拶いたします。

R I 会長メッセージ



John F. Germ
President, 2016-17

T +1-847-866-3025
F +1-847-866-3390
john.germ@rotary.org

2016年8月19日

富津中央ロータリークラブ会員の皆さまへ

富津中央ロータリークラブの創立 50 周年に際し、心よりお慶び申し上げます。

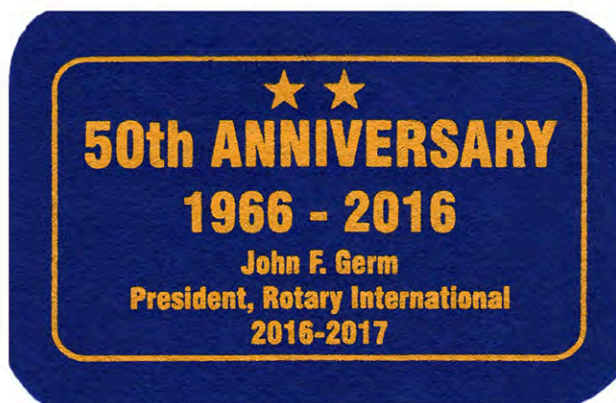
ロータリーの一員なら誰もが抱く特別な感情があります。それは、自分の行いによって誰かを幸せにできたという実感です。私たちはともに奉仕し、人びとがより良い人生を送れるよう支援してきました。今日、世界はこれまでよりもロータリーを必要としています。今こそ、これまでの成功を土台として、ポリオの撲滅に力を注ぎ、より良い世界を築く力としてロータリーをさらに飛躍させる 때가来ています。

世界に 34,000 以上あるクラブは、それぞれに個性があります。クラブが成功するかどうかは、その強さ、会員、奉仕への意欲など、多くの要素によって決まります。設立以来、貴クラブは地域社会でロータリーを代表し、「超我の奉仕」を実践してこられました。この機会に、クラブのこれまでの達成を振り返り、新たな目標を掲げてさらに邁進していただけることを願っております。

重ねて、創立 50 年の節目をご祝福申し上げます。今後も「人類に奉仕するロータリー」の一員として末永いご発展をお祈りしております。

心をこめて

2016-17 年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム





100年に向けて

国際ロータリー第 2790 地区

2016-17 年度 ガバナー 青木 貞雄

皆様こんにちは。

ご案内のありました、本年度地区ガバナーを拝命しております成田 CRC の青木です。本日は、富津中央ロータリークラブ創立 50 周年記念式がこのような盛大に開催されたこと、誠にめでたうございます。

諸先輩がおられる中、大変僣越ですが、ご指名ですので、富津中央 RC の皆様に一言お祝いを述べさせていただきます。

木更津 RC を親クラブとし、私が学校を卒業して社会に出た翌年の 1966 年に創立された富津中央 RC は、創立以来 50 年と言う長い歴史を通じ、代々の会員が、本日も多数ご参加いただいている台湾の姉妹クラブとの国際交流、また駅前の清掃・花壇植栽等の地域に密着した各種奉仕活動等に取り組み、輝かしい伝統を築くと共に、今日まで、その奉仕の精神と実践を引継いでこられました。

本年度第 4 分区ガバナー補佐として地区の運営に多大のご尽力をいただいている小野 AG より以前から伺っていましたが、去る 9 月 15 日の富津シティー RC との合同公式訪問で富津中央 RC の皆様とは初めて親しく意見交換等をさせていただいた結果、皆さんが和気藹々とした雰囲気の中で、肩を張ることなくロータリー活動に一生懸命取り組んでこられている様子が良く分かりました。

その元気の源となっているのが、ゴルフは元より、麻雀・囲碁を始めとする同好会活動ではないかと思いますが、その同好会活動の 1 つに、公式訪問時は見せていただくことは出来なかった会員で編成する音楽バンド、及びご夫人方のフラダンスの会もあるようで、本日はこれらのパフォーマンスを拝見できることを楽しみに、この場にまいりました。

さて、今年度に入って既に新入会員 3 名を得て、創立 50 周年に会員数 30 名の目標を上回る会員数 31 名を達成されたことは素晴らしいことです。地域特性もあり、会員確保に苦勞されていると伺っておりますが、創立 50 周年の節目を機に、榎本会長のリーダーシップ、及び全会員の努力により、同好会活動を含めた元気なクラブとして、奉仕活動、及び近年成果をあげている会員増強等に更なる成果を挙げられ、創立 75 年、100 年に向けて益々発展さるよう、そして会員の皆様の一層のご活躍・ご健勝を祈念申し上げて、簡単ですが、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠にめでたうございました。

以上



更なる飛躍を

富津市長 高橋恭市

富津中央ロータリークラブ創立50周年記念式典にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。

また、クラブ創立50周年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

貴クラブにおかれましては、これまでの間の歴代会長を中心とした多くの方々で「奉仕」の理念を奨励し、育てこられた、ご努力により、これまでの発展を遂げられました。

永年に渡る献身的な活動と輝かしいご功績に心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

また、今年度は、クラブターゲットを「活動するロータリー」として掲げ、明るく元気

な活動を通じて友情の輪を広げ、魅力あるクラブとしての更なる飛躍をご期待申し上げます。

私も、これから市民の皆様が「自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり」を念頭にスピーディーでパワフルな市政運営に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、富津中央ロータリークラブの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。



共に活発な活動を

親クラブ

木更津ロータリークラブ

2016-17年度 会長 成川芳明

皆様こんにちは

本年度、木更津ロータリークラブの会長を務めております成川です。

本日は、富津中央ロータリークラブの皆様、クラブ創立 50 周年誠におめでとうございます。

1966 年、前回のオリンピック 1964 年から 2 年後、先ほど青木ガバナーからは社会人になったばかりとお話しがありましたが私はまだ小学生でした。

富津中央ロータリークラブは木更津ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生しましたが、私共のクラブの資料等によれば、それ以来、親クラブ子クラブと言うよりは、千葉県のロータリークラブ、第四分区のロータリーの仲間として交流を深め、共にロータリー活動をしてきたと記憶しております。

本年度は、7 月にはガバナー補佐の小野様、また 10 月の上旬には、会長の榎本様、高橋様に木更津クラブへ御来訪頂き有り難うございました。御来訪時の貴クラブのお話を伺い、また本日の、富津中央のこの盛大な式典に出席させて頂きますと、ロータリーアンとしてうれしくもあり、またうらやましくも思えます。また先ほどの貴クラブの創立以来の歩みと活動をスライドで拝見致しましたが、クラブ創立以来、非常に幅広く継続的な社会奉仕を続けておられる事、感服致しました。是非とも富津中央クラブの活気を刺激として、木更津ロータリークラブも活発なロータリー活動をしていきたいと感じております。これからも宜しく願いたします。



貴社社運昌隆！

姊妹クラブ
嘉義南区ロータリークラブ
2016-17 年度 会長 張進哲 Stone

榎本 守男會長、各位與會貴賓大家好！

我是嘉義南區扶輪社社長張進哲 Stone。

今日非常榮幸受邀參加富津中央扶輪社授證 50 週年紀念慶典！本人謹代表嘉義南區扶輪社全體社友向 貴社致上最誠摯的祝賀！同時，本社與富津中央扶輪社締結姊妹社已邁入第 36 年了！這些年，貴社與我社的互動交流往來、活動照片以(line)族群的分享，奠定彼此深厚的情誼！

多年以來，貴社在國際扶輪各方面的社會服務、付出與奉獻，深值肯定與讚賞！希望藉此次參與貴社的授證聯誼，將深獲寶貴的經驗和讓我們的友誼更加深固！

最後敬祝

貴社社運昌隆！與會貴賓身體健康！

平安喜樂！

榎本守男會長、會員並びにご来賓の皆様こんにちは。私は嘉義南区ロータリークラブ会長の張進哲です。

本日富津中央ロータリークラブ創立 50 周年の記念式典に参加できますことを大変光榮に存じます。私は嘉義南区ロータリークラブの全会員を代表して、貴クラブに心からのご祝辞を申し上げます。同時に、私共のクラブと富津中央ロータリークラブが姊妹クラブを締結して以来既に 36 年目に入りました。この間、貴クラブと私共のクラブは相互に交流を重ね、ラインを通じて活動を分かち合い、お互いの友好を深めてきました！

長年に亘り貴クラブは国際ロータリーの各方面に於いて社会奉仕と義援と貢献に務められました。その実績は高く称賛に値するものです！この度の貴クラブ記念式典への参加が貴重な経験となり、私共との友好が更に深く強固になることを希望致します！

終わりにあたり、貴クラブの益々のご隆盛と、会員並びにご来賓の方々のご健康とご平穩をご祈念申し上げます。



益々の発展を

姉妹クラブ
塩山ロータリークラブ

2016-17年度 会長 小澤 顕

秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。

本日は富津中央ロータリークラブ会員、そしてご家族、ご関係者の皆様、創立50周年記念誠におめでとうございます。

姉妹クラブ塩山ロータリークラブを代表しまして心よりお祝い申し上げます。素晴らしい記念式典にお招きいただきましたことを大変嬉しく光栄に存じます。そして貴クラブの50周年という長い歴史の中の1コマに塩山ロータリークラブがありましたことを誇りに思い感謝しております。

貴クラブとの32年という長いお付き合いはロータリーという共通な志を持った人たちの集まりであったためだと思います。これからもロータリーの友情のもとに奉仕活動に専念し、共に一層幅広いお付き合いをお願いする次第でございます。

結びに、貴クラブが50周年という節目を契機に益々の発展と会員、ご家族の皆様方の尚、一層のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。粗辞ではございますが、私からのお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。



写真集

祝賀会 前後夜祭

2016/11/11

|

2016/11/15



会場のオークラアカデミアパークホテル



お客様の受入準備完了 実働受付係と老年受付係



大網会員 令孫・中新友里花様
鈴木勉会員



物故会員に黙祷

君が代 奉仕の理想



榎本守男 会長



青木貞雄 ガバナー



高橋恭市 富津市長



成川芳明 木更津 RC 会長



張進哲 嘉義南区 RC 会長



小澤 顕 塩山 RC 会長



謹聴の客席



記念事業 教育振興金目録贈呈（50万円）



元交換学生ジャッキーの祝賀金にクラブで同額を加え地区留学生に（10万円）



長寿会員表彰



大貫中吹奏楽団



祝宴



嘉義南 Sax 団に高橋裕之会員飛び入り



嘉義南の踊りに飛び入り後記念撮影



プロサクソ奏者 WAKANA さん



大網・栗原会員の伴奏で「故郷」合唱



三枝会員の俳句披露

大きな声で



大きく手を振り

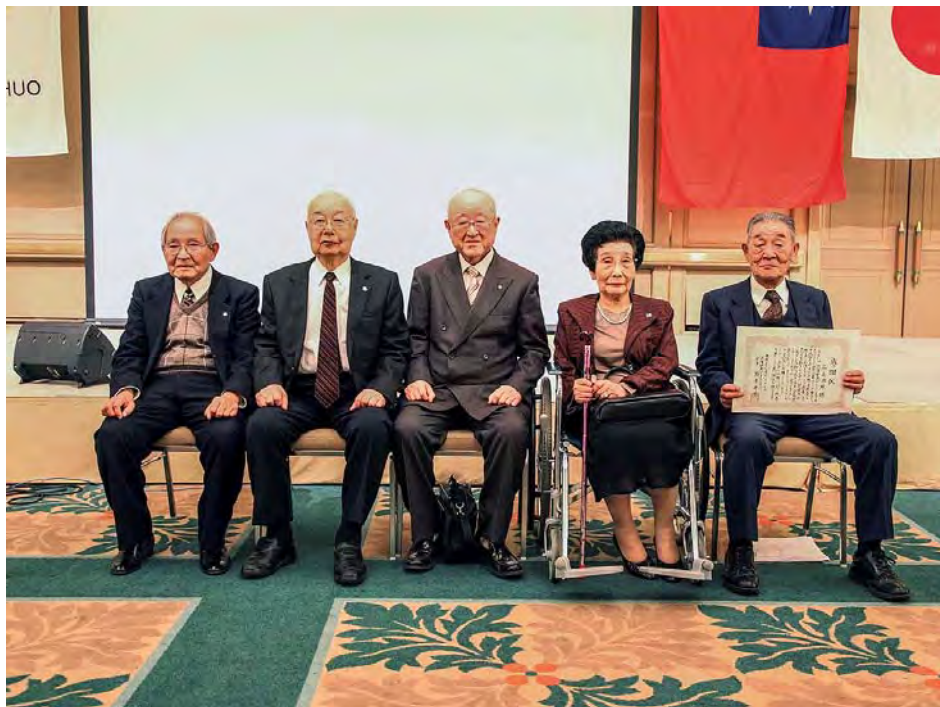


固くつなぎ

心から歌う 手に手つないで



姉妹クラブの台湾嘉義南区RC、塩山RCの皆様と記念撮影



長寿者表彰受賞者

左より千葉一利、志波克、三枝一雄、三枝夫人、高島治雄

式典前後祭剪影



成田山観光



姉妹クラブ契約更改



緊張の署名



乾杯+乾杯



富津中央RCバンド



嘉義南区RC女子会



熱烈歓迎 ♪ 雨の御堂筋



嘉義南区RCサクセス隊



魅惑のダンス



台湾舞踏で友誼永固



女子会 ブルーシャトー



ハワイアンで大歓迎



Mr. Magic 千葉会員

宴もたけなわ





三枝会員より漢詩のプレゼント



比内地鶏で満腹



肉バルで大宴会



プレー前の笑顔



マザー牧場 BBQ



紅葉狩り



女子会交流



全員集合



東京ベイコートホテル



ワインで乾杯



丸の内イルミネーション



ユリカモメでピース



青海で Good Bye



再見！ 再見！

50周年記念大会実行委員会組織名簿

大会委員長	志波 克
実行委員長	高橋裕之
実行委員	榎本守男 千葉一利 石渡 鋼 原田雅式 須藤 隆 渡辺哲夫 山下 厚 平野安照 大網庄一郎
記念事業担当	◎山下 厚 高島治雄 千葉一利
式典部会担当	◎渡辺哲夫 榎本守男
総務部会担当	◎原田雅式 平野安照
祝宴部会担当	◎高橋裕之 石渡 鋼
姉妹クラブ担当	◎石渡 鋼 若鍋武良 原田雅式
接遇部会担当	◎大網庄一郎 [女子会] 大網立子 榎本純子 石渡栄子 原田和子 白石登美子 須藤弥生
記念誌担当	◎須藤 隆 志波 克 高島治雄 千葉一利 石渡 鋼 榎本守男 渡辺哲夫 山下 厚 高橋裕之
会計	平野安照

◎印は担当リーダー

創立50周年記念大会を終えて

創立50周年記念大会
実行委員長 高橋裕之



富津中央RCは、1966年10月13日に木更津RCをスポンサークラブとして、故笠原文雄会長、故刈込碩弥幹事でスタートいたしました。そしてこの度、創立50周年を迎えることとなりました。

私は、石渡鋼会長年度の平成3年7月に入会させて戴きましたが、この年度に創立25周年記念式典が開催されました。また、当クラブがスポンサークラブとなり、富津シティRCが誕生いたしました。

右も左も、もちろんロータリーの事もよく解らず、先輩会員に従い、駐車場係やら、雑用係やらをひたすらこなすばかりの新入会員でしたが、当時の会員数は40名以上、第2790地区全体では3,000名を越すロータリアンが在籍しており、地区大会なども華やかで、ロータリアンに加わることが出来、大変誇らしく感じた事を鮮明に記憶しております。

第2790地区ばかりでなく、どこの地区やクラブでも活動はとても活発で、新しいクラブも次々と生まれ、チャーターナイトにも数多く参加させていただきました。しかしながら、バブル崩壊を境にロータリアンも減少し、ともするとその活動も閉塞気味になっていったのは、ご承知の通りです。クラブの記念式典も5年毎に開催して参りましたが、次第に控えめなものになっていきました。往事の華やかさを懐かしむロータリアンは、私だけではなかった事と思います。

そんな折、富津中央RCは創立50周年を迎えることになり、実行委員会を立ち上げ記念式典に備えることとなりました。

第1回実行委員会会議は、平成27年8月

3日に開催しました。その際に、大会委員長：志波克（チャーターメンバー）、実行委員長：高橋裕之（私）、他の役割分担が決まったのですが、50周年記念式典開催時の会長は、榎本守男会長しかないと、先年の指名委員会は全員一致で、榎本守男会長を推薦しました。

実行委員会は、榎本会長というパワフルなエンジンを中心に、半世紀の歴史に相応しい盛大な記念式典にするため、一丸となって奮闘してきました。日程を決め、会場を押さえ、予算を作成し、積立も始めました。次に、区内クラブおよび記念誌担当、記念事業担当、式典部会担当、総務部会担当、祝宴部会担当、姉妹クラブ担当にわかれそれぞれが、担当分担の提案をまとめていくことになりました。また、成田空港南RC、印西RCの50周年記念式典に参加し参考にさせて戴き、地区大会などの際の懇親会の席でも、50周年記念式典のPRにつとめました。

特に台湾嘉義南RC・山梨塩山RCと両姉妹クラブには長年に渡る交流の成果として、式典を盛り上げて頂いたこと、私は忘れることはありません。

最初は我がクラブにとって、50年に一度という大イベントのまとめ役として不安もありましたが、お陰様で秋晴れのもと無事にすべてのプログラムを終えることが出来ました。

これに関わり、一端を担った自分としては、とても感謝し、また、満足をしています。

末筆にあたり手違い、不備、不行き届きの点をお詫び申し上げますとともに、ご来賓の皆様、参加ロータリアン、姉妹クラブメンバー、ご協力戴いた全ての方々には厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

クラブの沿革と現況

創立	昭和41年10月13日	大佐和ロータリークラブとして
認証状受領	昭和41年12月28日	
親クラブ	木更津ロータリークラブ	
認証状伝達式	昭和42年11月5日	
名称変更	昭和51年10月26日	大佐和ロータリークラブから富津中央ロータリークラブ
例会場	昭和41年から平成27年11月まで	さざ波館 富津市小久保2868 平成27年12月から現在まで いち川旅館 富津市岩瀬841-3
例会日時	毎週木曜日	12時30分から1時間
会員所在地域	富津市、君津市、木更津市	
会員数	31名	(平成28年11月現在)
名誉会員	1名	富津市長
理事会	毎月、月初めの例会日に定例理事会を開催し、必要に応じて臨時理事会を招集する。	
委員会	会長、幹事を除く全会員をいずれかの委員会に属するように編成し、ロータリー精神の理解と奉仕への積極的参加を奨励する。委員会の活動は、委員長の指導の下に全委員の責任ある活動が期待される。	
クラブ協議会	年度を通じて次の場合に開く	1) 7月、年間活動計画の発表時 2) ガバナー公式訪問の時 3) 活動計画を振り返るとき(年2回) 4) 会員増強等の重点活動計画を実行推進するとき 5) 12月のクラブ年次総会の時 6) その他必要に応じて臨時に開く

歴代会長・幹事・ガバナー補佐（分区代理）一覽

代	年度	会長	幹事	ガバナー補佐	摘要
1	1966-67	笠原文雄	刈込碩弥		設立総会 1966/10/13
2	1967-68	笠原文雄	刈込碩弥		認証状伝達式 1967/11/5
3	1968-69	笠原文雄	松田和雄		君津商業高校体育館
4	1969-70	刈込碩弥	平野定彦		
5	1970-71	榎本与七郎	町沢清太郎		
6	1971-72	石渡弼郎	小倉勇		
7	1972-73	小林栄一	内野高正		
8	1973-74	林正美	志波克	石渡弼郎	ICGF 1973/11/11
9	1974-75	松田和雄	綾野弘	(分区代理)	尾崎記念館
10	1975-76	松本剛夫	粕谷正		
11	1976-77	内野高正	佐生一郎		
12	1977-78	榎本庄壹	高浦勢		
13	1978-79	町沢清太郎	小池溢夫		
14	1979-80	粕谷正	島田明		
15	1980-81	佐生一郎	内野洋一		
16	1981-82	志波克	杉崎良二		
17	1982-83	大森清夫	石渡鋼		
18	1983-84	小池溢夫	三枝一雄		
19	1984-85	島田明	久野隆		
20	1985-86	鈴木正淳	加藤義昭	刈込碩弥	ICGF 1986/2/8
21	1986-87	三枝一雄	小嶋一朗	(分区代理)	中央公民館
22	1987-88	杉崎良二	島貫昌俊		
23	1988-89	高浦勢	榎本守男		
24	1989-90	内野洋一	小野恒靖		
25	1990-91	久野隆	秋山和彦		
26	1991-92	石渡鋼	伊藤一夫		
27	1992-93	榎本守男	平川恵敏		
28	1993-94	伊藤一夫	高橋裕之		
29	1994-95	小野恒靖	飯倉清種	内野高正	IM 1995/2/23
30	1995-96	小嶋一朗	山田隆俊	(分区代理)	富津公民館
31	1996-97	高島治雄	千葉一利		
32	1997-98	川原登志男	豊島豊		
33	1998-99	平川恵敏	佐藤信泰		
34	1999-00	飯倉清種	平野丘		
35	2000-01	千葉一利	渡辺務	志波克	IM 2001/2/15
36	2001-02	豊島豊	白石幸久	(分区代理)	上総アカデミアホール
37	2002-03	佐藤信泰	高島治雄		
38	2003-04	高橋裕之	永島強		
39	2004-05	渡辺務	志波克		
40	2005-06	白石幸久	石渡鋼		
41	2006-07	永島強	大網庄一郎		
42	2007-08	大網庄一郎	原田雅式		
43	2008-09	高島治雄	佐藤信泰	石渡鋼	IM 2009/2/13
44	2009-10	志波克	榎本守男		上総アカデミアホール
45	2010-11	原田雅式	平川恵敏		
46	2011-12	小野恒靖	須藤隆		
47	2012-13	高橋裕之	若鍋武良		
48	2013-14	須藤隆	山田昌雄		
49	2014-15	若鍋武良	原田雅式		
50	2015-16	千葉一利	高橋裕之		上総アカデミアホール
51	2016-17	榎本守男	渡辺哲夫	小野恒靖	IM 2017/2/25



望見

50年の足跡

写真集

1966 - 2016

チャーターナイト



笠原文雄初代会長と川名正義ガバナー



歓迎ゲート



上 | 会場正面 下 | 祝賀会



オリンピック体操選手演技



例会場・さゞ波館前の海岸で磯根崎をバックにピカピカ・ロータリアン

交換学生



初めての交換学生オーストラリアのアンナ



以後 10 年程で往復約 50 人の交換学生



アンナには
5 人の孫が



ニュージーランドのジャッキーは
祝賀金を送ってきた。



30周年 東京地検特捜部検事の時「ロッキード事件」を担当した堀田力氏の講演



35周年 富津市出身のカジヒデキ氏を招き「若者へのアプローチ」と題し挙行政



40周年 嘉義南区RCとの相互訪問と台湾・阿里山郷へ移動図書館用図書購入費を贈呈



45周年
記念例会に嘉義南区扶輪社より大勢のご出席を頂いた

45周年記念例会御臨席の嘉義南区扶輪社皆様と富津公民館前「友誼永固」碑を囲んで 2011.10.13

諸活動



初めての ICGF (現 IM) 分区分代理/石渡 二郎



塩山 R C 会員の桃園で花見会



国際大会 左 | タイ・バンコク
右 | カナダ・モントリオール



左上より時計回りに
忘年会 観桜旅行
石渡鋼邸裏山で BBQ

奉仕活動



大佐和町役場に広報車寄贈



優良従業員表彰



海岸清掃



中学校生徒英語発表会主催



左上より時計回り
海岸公園に遊戯施設寄贈
廃品で音楽ガラクタ・コンサート
老人施設慰問



嘉義南区RCとのマッチンググラントで阿里山郷に移動図書館を寄贈



烏山頭ダムをバックに
植樹された桜と



「烏山頭水庫扶輪桜花林」計画に参加
八田與一技師像を囲み記念撮影



大貫中学校に電子オルガンを寄贈



「花いっぱい運動」作業風景

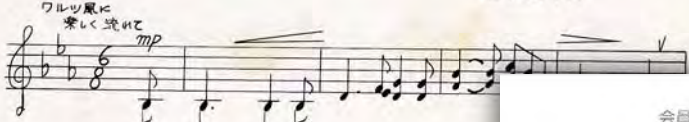
別格

創立3周年記念制定

大佐和ロータリークラブの歌

山本艶子作曲

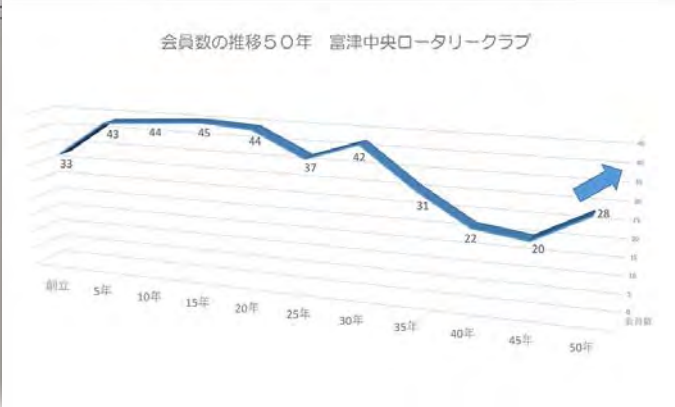
ワルツ風に
楽しく弾いて
mp



1. 淡いピンクの美しい
浜ひる顔の咲く砂丘
きらめく歯車、友愛と
奉仕の理想に手をむすび
集う友人 大佐和ロータリー
ああ 大佐和ロータリー

2. 潮 さぐめく親睦の場
世界平和の灯を
集いて ともす 友愛よ
久遠の理想を歯車に、きよき友人
大佐和ロータリー
ああ 大佐和ロータリー

会員数の推移50年 富津中央ロータリークラブ



年	会員数
創立	33
5年	43
10年	44
15年	45
20年	44
25年	37
30年	42
35年	31
40年	22
45年	20
50年	28

会員数推移

故松本剛夫会員作詞「大佐和ロータリークラブの歌」



例会場として長年お世話になった「さぐ波館」



元館主 刈込碩弥御夫妻



直前 5 年間の活動記録

2012（平成24）年 7月

）

2017（平成29）年 6月



2012～13年度

第47代会長／高橋裕之 平和そして明るい未来

幹事／若鍋武良

RI 会長／田中作次 奉仕を通じて平和を

ガバナー／得居 仁 松戸東RC

ガバナー補佐／秋山和彦

活動概況

- 7月 各委員会委員長の活動計画発表、佐久間富津市長に名誉会員の委嘱状授与、多田勇新会員入会
- 8月 秋山ガバナー補佐訪問、千葉会員卓話「和歌について」、マザー牧場での夜間納涼例会
- 9月 三井会員卓話「新世代奉仕について」、白石幸久会員卓話「職業奉仕について」、職業奉仕フォーラム、若鍋武良会員卓話「のぼうの城」、小野恒靖会員卓話「ギターの話」、夜間句会例会、ロータリーバンド結成の発表
- 10月 永島強会員再入会、地区大会出席9名、志波会員卓話「わがクラブの創立と歴史」、高島治雄会員卓話「米山奨学会について」、1泊2日の親睦旅行例会（山中湖）
- 11月 高島治雄会員卓話「フランスの旅そしてモンサンミッシェル」
外部卓話 福山悦男千葉大学医学部臨床教授「疾病予防、健康と食事等」
- 12月 須藤隆会員卓話「囲碁の魅力と歴史」、石渡会員卓話「映像による嘉義南扶輪社週報拾い読み」、指名委員会、総会、忘年家族親睦会、ガバナー訪問
- 1月 全会員年頭所感発表、親睦旅行での会員俳句（特選11句、佳作20句発表）、三枝一雄会員の叙勲と傘寿を超えて卒寿向かう4人の先輩会員を祝う会実施
- 2月 志波克会員卓話「宇宙本ちょい読み一物質が残ったわけ」、原田雅式会委員卓話「富津市内古墳、墓所、石碑について」、渡辺務会員卓話「浅間山の太陽光発電について」
- 3月 榎本守男会員卓話「ギター修行」、3グループに分かれて家庭集会実施、千葉一利会員卓話「囲碁の井山裕太九段とわが孫について」、塩山ロータリークラブと合同例会（東京湾観音会館にて）
- 4月 中国語勉強会、刈込一弥会員卓話「会報・広報委員会について」、志波克会員卓話「台湾訪問雑感」、石渡鋼会員卓話「13年度嘉義南扶輪社訪問の経緯とその意義について」、会員13名嘉義南扶輪社訪問
- 5月 次年度会長方針発表、平野安照新会員入会、市内3クラブ合同例会（鹿野山ゴルフクラブにて）
- 6月 原田雅式会員卓話「NPO 資金開拓セミナーについて」、渡辺務会員卓話「趣味ロック？」、外部卓話 染川英輔日本画家「私の描く荒ぶる心、優しい心」、会長幹事慰労会



2013～14年度

第48代会長／須藤 隆 個々の価値観を尊重し、自らロータリーを楽しもう
幹事／山田昌雄

RI 会長／ロン D. バートン ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を
ガバナー／関口徳雄 浦安 R C

ガバナー補佐／堀内正一

活動概況

- 7月 佐久間富津市長に名誉会員の委嘱状授与、堀内ガバナー補佐訪問、
各委員会委員長の活動計画発表、山田昌雄会員の卓話「茶碗屋の四季」
- 8月 千葉一利会員卓話「幕末を追う」、マザー牧場での夜間懇親例会
平川恵敏会員の卓話「茶道について」、若鍋武良会員卓話「南北戦争とゲティスバーグ演説」
- 9月 榎本守男会員卓話「私が出会った珠玉の言葉」、会員増強フォーラム、
高島治雄会員卓話「15夜の名月はいつも仏滅」、石渡鋼会員卓話「おかしな話」、
外部卓話 保坂典江 富津市教育委員会センター指導主事「富津市の小中学生の様子」
- 10月 夜間句会例会、多田勇会員卓話「陸上競技の思い出」、高橋裕之会員卓話「サバイバル」、
原田雅式会員卓話「フェイスブックについて、甲州市およっちょい祭り、
米山記念奨学について」、ガバナー補佐訪問、クラブ協議会
- 11月 ガバナー訪問、ムン・クバト米山奨学生の卓話「内モンゴル地区の話」、
木更津 R C 会長、幹事以下3名の来訪、志波克会員卓話「良き木更津」、
千葉一利会員卓話「ロータリー財団について 他2つ」
- 12月 老人福祉施設「さきくさ」慰問訪問（楽団演奏及び女子会のフラダンス披露）、
指名委員会、総会、忘年家族親睦会
- 1月 会員全員年頭所感発表
- 2月 会員5人の古希を祝う新年会、姉妹クラブ塩山に「雪害見舞い20万円」送付、
外部卓話 上野卓爾地区国際奉仕委員会委員「国際奉仕委員会の活動報告」
- 3月 台湾訪問壮行会を兼ねた夜間例会、会員3名嘉義南扶輪社訪問、
石渡鋼会員卓話「三陸への旅」、平野安照会員卓話「母さん助けて詐欺」
- 4月 石渡鋼、若鍋武良、原田雅式3名の台湾帰朝報告、志波克会員卓話「会報・広報について」、
3グループに分かれて家庭集会
- 5月 渡辺哲夫、栗原典子、金子光晴3名の新会員入会、次年度会長方針発表、
奉仕活動「海岸清掃」、新入会員研修会（オリエンテーション）、
三クラブ合同例会（富津シティ例会場にて）
- 6月 若鍋武良会員卓話「外国語あれこれ」、ガバナー補佐退任訪問、
クラブフォーラム「1年を省みて」、会長幹事慰労・新会員歓迎夜間例会



2014～15年度

第49代会長／若鍋武良 寛容な心で、ロータリーの輪を広げよう

幹事／刈込一弥、 原田雅式

RI 会長／ゲイリー C.K. ホァン ロータリーに輝きを

ガバナー／宇佐見透 千葉幕張 RC

ガバナー補佐／野村進一

活動概況

- 7月 佐久間富津市長に名誉会員の委嘱状授与、各委員会委員長活動計画発表
- 8月 マザー牧場での夜間懇親例会、ガバナー補佐訪問、
伊藤隆夫新会員入会、山田昌夫会員卓話「社会奉仕委員会セミナーの報告」、
原田雅式会員卓話「会員増強について」、ガバナー訪問、クラブ協議会
- 9月 渡辺哲夫会員卓話「青少年奉仕担当部長として」、三井進会員卓話「寄付に思う」、
新入会員オリエンテーション（講師志波克会員）、移動例会（金谷美術館）、
石渡綱会員卓話「為にならない話」、栗原典子会員卓話「私のこと」、
千葉一利会員卓話「飲んべえの知識」、月見句会例会
- 10月 高橋裕之会員卓話「職業奉仕」、小野恒靖会員卓話「ロ財団・米山について」、
親睦旅行「軽井沢、富岡製糸場」、志波克会員卓話「わがクラブの創立と歴史」
- 11月 移動例会（IM 参加）、会報・広報委員会及び会員増強委員会共催炉辺会合、
石渡綱会員卓話「セメントとコンクリート」、渡辺務会員卓話「富津市の財政について」
- 12月 外部卓話 山田修平地区ロ財団委員会委員長「ロータリー財団の基礎知識」、フラダンス
披露、外部卓話 川名泰大貫中学校長「職員が夢を持つ学校づくりを目指して」
- 1月 会員全員年頭所感、外部卓話 経営コンサルタント兪明鶴
- 2月 鈴木勉新会員入会、三井進会員卓話「悩めるゴルフ場協会」、高島治雄会員卓話「海外旅行
で目についたシーンから そして呼びかけ」、平野安照会員卓話「自分が試した健康法について」
- 3月 大網庄一郎会員卓話「上半期を振り返った親睦行事について」、
渡辺哲夫会員卓話「節分に飾る柗鱒の由来と処分方法」、
臨時総会開催（クラブ細則改正：休会規定の追加について投票採決）、
千葉一利会員卓話「あなたの歴史認識は？」、渡辺務会員卓話「富津市市議会報告」
- 4月 クラブフォーラム「会員増強について」、高橋裕之会員卓話「ロータリアンの考え方」、
須藤隆会員卓話「コンピュータと囲碁」、山下厚新会員入会
志波克会員卓話「勤勉の動機」、千葉一利次年度会長方針の発表
- 5月 嘉義南扶輪社と合同例会（台湾にて）、台湾訪問帰朝報告、富津市防災センター見学
- 6月 若鍋武良会員卓話「1年を振り返って」、野村進一ガバナー補佐卓話「2014－15年度
第4分区ガバナー補佐を振り返って」、クラブフォーラム「1年を振り返って」、村田喜身江
事務局員から藤江みどり新事務局員に交代、会長幹事慰労・新入会員歓迎・家族例会



2015～16年度

第50代会長／千葉一利 「どう生きるか」諸事を見直して実践しよう
幹事／高橋裕之

RI会長／K.R. ラビンドラン 世界へのプレゼントになろう

ガバナー／櫻木英一郎 千葉RC

ガバナー補佐／神子 恒

活動概況

- 7月 佐久間富津市長に名誉会員の委嘱状授与、各委員会委員長活動計画発表、
渡辺昇一新会員入会、ガバナー補佐訪問、渡辺務会員卓話「行政にかかわる話」、
新会員研修（講師 石渡鋼会員）
- 8月 マザー牧場での夜間懇親例会、
石渡鋼会員卓話「ドキュメンタリー“苦肉の策”」、
平野安照会員卓話「富津市ふるさと納税について」、榎本守男会員卓話「親日台湾と反日韓国」、
第1回50周年記念行事実行委員会開催（8月3日）
- 9月 ガバナー訪問、クラブ協議会、白石廣新会員入会、榎本守男会員卓話「広島からヒロシマへ」、
山田昌雄会員卓話「高齢化と老人介護・福祉事業について」、
三井進会員卓話「日々雑感」、「いわね潮の香園」竣工式に楽団及び女子会のフラダンス披
露、外部卓話 川名泰大貫中学校長「職員が夢を持つ学校づくりを目指して」
- 10月 鈴木勉会員卓話「マイナンバーがやってくる」、月見句会例会、
須藤隆会員卓話「米山奨学会について」、外部卓話 ジルモト米山奨学生「自己紹介と故郷
内モンゴルについて」、移動例会（米山梅吉記念館を見学）
- 11月 志波克会員卓話「宇宙放談」、若鍋武良会員卓話「ロータリー財団」、栗原典子会員卓話「娘
のこと」、高島治雄会員卓話「私の少年時代」、山下厚会員卓話「ノーベル賞受賞の大村先
生と駆虫薬」、渡辺哲夫会員卓話「六星占術による天王星（私）の運命について」、
白石幸久会員卓話「相続税について」
- 12月 老人保健施設「さきぐさ」慰問訪問、事務所移転（さざ波館→いち川旅館）、(株)きみか
工場見学、大網庄一郎会員卓話「同窓会とハーモニカ」、12月10日新事務所にて例会、
クラブフォーラム「上半期のロータリー活動を振り返って」、家族親睦忘年例会
- 1月 出席優秀者表彰、会員全員年頭所感、50周年記念事業委員会にて担当分野の実行責任者
決定、新入会員歓迎ゴルフコンペ
- 2月 榎本守男会員卓話「お茶を濁す」、米山奨学生世話クラブ引き受け決定、
石渡鋼会員卓話「ロータリーの諸事について」
- 3月 須藤隆会員卓話「香港について」、若鍋武良会員卓話「ラテンアメリカについて」、
原田雅式会員卓話「“文学散歩”に参加して」、平野安照会員卓話「贈与について」、
山田昌雄会員卓話「戦国遙かなれど」、小野恒靖会員卓話「趣味の卓球と楽器について」、

- 三枝一雄会員卓話「長寿と俳句」
- 4月 渡辺務会員卓話「富津市議会報告」、石渡鋼会員卓話「花及び誰がために花は咲く」、
花いっぱいプロジェクト活動（市内小中学校5校に花を寄贈し、会員と一緒に花植の指導
を行う）、原田雅式会員卓話「スマートホンのアプリ」
- 5月 3クラブ（富津RC、富津シティRC、富津中央RC）合同例会、
次年度活動方針発表（榎本守男次年度会長）、志波克会員卓話「地球の話」
- 6月 渡辺昇一会員卓話「スポーツについて」、鈴木勉会員卓話「富津に伝わる伝統的な遊び
“フンチ”」、山下厚会員卓話「カストラート、宦官の誕生」
石井輝之新会員入会、各委員会委員長「1年を振り返って」、
外部卓話 松原覚樹佛母寺住職「無住心の大切さ」、
会長幹事慰労・新入会員歓迎・家族例会





2016～17年度

第51代会長／榎本守男 活動するロータリー
幹事／渡辺哲夫

RI会長／ジョン F. ジャーム 人類に奉仕するロータリー
ガバナー／青木貞雄 成田コスモポリタンRC
ガバナー補佐／小野恒靖

活動概況

- 7月 佐久間富津市長に名誉会員の委嘱状授与、各委員会委員長活動計画発表、
新会員入会 黒川治雄、神子恒、岡田良弘、神子勝美
- 8月 マザー牧場での夜間懇親例会、山下厚会員卓話「原爆はいらない。必要なのは」、
50周年記念実行委員会
- 9月 クラブフォーラム（会員増強）、外部卓話声楽・ボーカル講師 山田宏美 「腹式呼吸に
ついて」、諸岡靖彦地区研修副委員長挨拶
- 10月 夜間例会・月見句会、奨学生卓話「ハンゲルと韓国語」李俊享、台湾語会話講習会 講師
中村齡月
- 11月 嘉義南扶輪社歓迎・式典前夜祭、50周年記念式典（ホテルオークラにて）、
会員卓話「中高年の健康」三枝一雄、外部卓話「富津を訪れた文人など」栗原克榮
- 12月 奨学生卓話「対称性の話」李俊享、外部卓話 藤倉富二夫氏「方言について」、
クラブフォーラム「上期を省みて」各委員会委員長並びに担当部長、家族親睦忘年例会
- 1月 会員全員年頭所感、平川恵敏新会員入会、新年会・新入会員歓迎会
- 2月 臨時総会開催（クラブ定款・細則を規定審議会報告に準拠して改定、年齢84・入会歴20
年以上の会員の会費半額制度追加）、千葉一利会員卓話「オルターナティブ論」「雑学講座と
解説」、外部卓話 山下清俊地区職業奉仕委員会副委員長「職業奉仕について」、
ホストクラブとしてIM開催
- 3月 神子恒会員卓話「私とセブ島」、志波克会員卓話「“LIFE SHIFT”を読んで」、
禅道場にて座禅例会、塩山RC45周年記念式典15名参加
- 4月 花いっぱい運動の実施「富津小・中学校、市役所、福祉施設15か所への“桃色吐息”のプラ
ンター寄贈」、鈴木勉会員卓話「卓話についての卓話」、外部卓話 川名泰氏「教職を終え
て次のステージへ」、外部卓話 地区ロータリー財団副委員長平野弘和「ロータリー財団と
国際ロータリー」
- 5月 石渡鋼次年度会長「次年度会長方針発表」、台湾嘉義南扶輪社訪問（会員7名、夫人3名）、
ケアセンタ“さきくさ”誕生会慰問訪問、夜間懇親例会「台湾訪問帰国慰労並びに会員古
希のお祝い」、市内2クラブ合同例会
- 6月 外部卓話「内房線のこれから」鉄道ジャーナリスト 梅原淳、
クラブフォーラム「本年度を省みて」、家族夜間例会「会長・幹事・ガバナー補佐慰労会」



投 稿

感謝光臨 嘉義南区扶輪社-----榎本守男

あれから40年-----石渡 鋼

50周年に思う -----千葉一利

私とロータリー-----志波 克

ロータリークラブと私 -----高島治雄

創立50周年の思い出 -----三枝一雄



「感謝光臨 嘉義南区扶輪社」

榎本守男

2016年7月7日、いよいよ24年ぶりの2度目の会長年度の幕開けです。私の入会は1982年7月17日ですから在籍34年になります。再登板とはいえ初例会は平常心を保てず高揚感を以って迎えました。奇しくも七夕の日でもあり天空のロマンスの話を交えつつ「今年度の重点目標は創立50周年記念式典・祝賀会の成功を期すことです。」とゆとりを持って話したのを覚えています。心の中では式典までの時間はたっぷりあると思っていました。たとえ出遅れても頑張れば取り戻せると軽く考えていました。この考えの甘さが後になって焦る原因になりました。予定では5月までに基本スケジュールはすべて出来上がり6月には招待状の発送を完了し7月には参加要請のキャラバンを実施し8月末には出席人数確定という実行計画でした。

他の忙しさにも追われ、それに紛れて一番先にやるべき招待状を出していないのに気付いたのがお盆過ぎてでした。急遽志波大会委員長に案内状の作製を依頼し高橋実行委員長、渡辺幹事、原田会員、藤江事務局員とあわてて発送をしました。この日を境に一気に呵成にやるべきことが進んでいったような気がします。尻に火が付くとはこの事でした。

創立50周年という大きな節目の年にクラブの結集力の試金石となる行事を成功裡に導けるかどうかはクラブの真価を問われ

ることです。チャーターメンバー1名を含む80才以上の会員4名の為にも多くの方々にご出席いただき、地区内外クラブの皆様と共に創立50周年を祝いたいと強く願っていました。そして共有した時間とその中で培われた個々の友情が更に継続し深化できるような温かく意義深い式典に出来ればと思っていました。

クラブ内において何度もの会議を経て、ベクトルが一つになり、大会の成功を確信出来るころまで来ました。

そんな中ビッグニュースが飛び込んできました。姉妹クラブである嘉義南区ロータリークラブより43名が参加をするという事です。そのうちゴルフ組は12名で2日間のプレーを希望しているとの事でした。最終的には出席人数は23名になりましたが海外より大挙しての出席の報に会員一同感謝で一杯でした。何度かの変更の連絡があり最終的には24名の参加となりましたが、ゴルフクラブ、楽器を持参しての来日が決定しました。それからの議題の中心は嘉義南区扶輪社の皆さんをどの様にもてなすのかに移りました。

私達が嘉義南区扶輪社を訪問した時はいつも心から接待して頂いている。そのお返しで最高の歓待することに決まりました。

そしていよいよ式典前日11月11日を迎えました。石渡班はマイクロバスとトラッ

クで成田空港ゴルフ組8名をお迎えし、空港近くの成田山新勝寺の観光と米屋店舗の案内の後ホテルオークラアカデミアまでのお迎えを担当していただきました。

私達残留組は翌日に控えた式典の最終準備とリハーサル、女子会はテーブルフラワーの飾りつけ受付の手順の再確認を行いました。玄関前で嘉義クラブ観光組16名とゴルフ組8名を台湾国旗を振りながらお迎えしました。両クラブの再開を喜ぶ笑顔と強い握手の感覚が忘れられません。

18時よりアクアラインを望む木更津ビューホテル4階ホールでの歓迎会でした。姉妹クラブ締結延長の調印も滞りなく終了しました。そこからは両クラブのバンドが得意の曲を披露してヒートアップ、さらにアルコールの力を借りて台湾の激しい民族舞踊と延々と続く富津音頭でかつてない程盛り上がり、同時に息もあがりました。大幅に時間延長してお開きとなりました。

いよいよ記念式典当日となりました。会員は8時集合し朝の打合せの後各自担当部署のチェック、二日酔いの影響はまったくなく全員きびきびとした動きで頼もしい限りでした。

多くの会員の登録を頂き、混乱もなく受け付けを済ませ談笑しながら点鐘をお待ちいただきました。

式典はプログラムに沿って順調に進行し時間の遅れも、トラブルも一切なく閉式となりました。ここで緊張感から少し解放されたような気分になりました。会員各位が責任を以って役割を果たしてくれたおかげと思っています。

続く祝賀会も姉妹クラブの塩山ロータリークラブの差入のワインで各テーブルの会話が盛り上がっていました。嘉義南区扶輪社

の席はface book用とline用の写真撮影と乾杯、乾杯で大盛り上がりでした。

アトラクションは嘉義南区扶輪社のサックス隊による演奏とプロサックス奏者で富津市出身のWAKANAさんの演奏でした。そして前日の評判に気を良くして富津中央ロータリークラブバンドもお客様の前で披露させていただきました。未熟ですが練習の甲斐があって皆様から多くの拍手を頂きました。更に舞台上では台湾の踊りが続き、お開きになるまで嘉義南区会員のエネルギーな動きに圧倒されました。出席の皆さんからは心のこもった富津中央クラブらしい式典でしたとの声をいただきました。式典・祝賀会とすべて順調に進行しお開きとなり安堵しました。

計画から約1年、両肩に乗っていた重しが取れた気がしましたが、まだまだ全部が終わったわけではありません。これからはアルコールとの戦いのゴングが鳴りました。

祝賀会終了後嘉義南区の皆さんと木更津市内のイタリアンレストラン29bal（ニクバル）での2次会でした。大声での会話と乾杯！乾杯！にスタッフに幾度となく注意されるもビールとワインが次々に空いていきます。これ以上は迷惑がかかると思い、ダメ押しの3次会は近くのカラオケ店に飲み放題プランで入店しました。若い嘉義の会員についていくのがやっとなりで、のども嗄れて疲労困憊でホテルのベッドへ向うも記憶が定かではありませんでした。

翌13日早朝、静岡方面に向かう観光グループのお見送りの後、ゴルフ組の奥様方は予定通り金谷日本寺の観光、マザー牧場で昼食、アウトレットでのショッピングに原田、白石班が案内してくれました。嘉義南区会員との親睦ゴルフ会は鹿野山ゴルフクラブで行い

ました。天候にも恵まれ賑やかに明るくプレーを満喫しました。

夕刻には嘉義の奥様方も富津中央女子会も合流して木更津焼きとり居酒屋 NAKANAKA での懇親夕食会でした。ワインで乾杯、ビールで乾杯の最高潮となり、それに耐えかねて隣席のお客様は早々帰られました。心配していた会話も英語、台湾語、日本語、アクションを交えてなんとか意思の疎通が出来る様になり会話が途切れることはありませんでした。

翌14日も上総モナークで5組の親睦ゴルフコンペでした。連日の寝不足にもかかわらず各組ともワイワイ和やかにプレーを楽しみました。嘉義南区の方々はゴルフが上手で飛距離も抜群でそのパワーに圧倒されました。コンペ終了後の表彰式も楽しく笑い声が絶えませんでした。それから大急ぎで身支度をして宿泊先の東京ベイコートクラブホテルへ向かいました。途中アクアラインの海ほたるで少し立ち寄り写真を撮ってお土産を買い大急ぎで向かうも事故渋滞にはまり1時間の延着となりました。ドレスコードがある為着替えをして会場へ入り、コース料理で最後の晚餐を迎えました。美味しいフレンチを味わいつつ遠来の友との会話は尽きることなく、気づいたときは乾杯乾杯で白ワイン12本、赤ワイン2本、ビールはそれなりに胃袋の中に入っておりました。これ以上は無理と思ったところでお開きにして夜の有楽町に繰り出すことにしました。タクシーで丸の内に行き、雨の中、傘をさしてイルミネーションを見ながら新橋まで散歩し、新橋か

らゆりかもめに乗ってホテルまで帰りました。普段はすることのない経験を私達もさせてもらいました。

翌15日は東京散策の日にしました。全員でゆりかもめに乗ってお台場、ベイブリッジ、スカイツリーを眺めつつ新橋駅に到着し、次は都バスに乗り換えて東京タワーへ向かいました。展望台から東京360度のパノラマを楽しんでもらいました。私達も都バスデビューとなりました。これからランチに向かいます。もちろん東京の台所の築地です。築地場外市場で自由時間1時間として別行動にしました。結局嘉義グループも富津グループも同じ「すしざんまい」でお寿司を食べていました。いよいよ有明のバスストップで見送る時間が迫ってきました。バス出発まで残り30分となり最後の会話は「5月には必ず訪問します」「必ず来てください。待ってます!」「謝謝~」「再見~」の言葉が飛び交いバスが角を曲がって見えなくなるまでどちらも手を振り別れを惜しみました。迎える時に長いと感じた5日間は過ぎてみると瞬く間でした。両クラブの交流にこれだけの時間を費やしたことはかつてありませんでした。lineとface bookでより身近になった関係が今回の訪問で更に深化したと感じております。

大家好 嘉義南区扶輪社
為慶祝 富津中央扶輪社50周年記念
非常感謝 大勢光臨
有朋至遠方來
希望未來 感謝 友誼永在
由心中 感謝



「あれから40年」

石渡 鋼

昭和51年西暦では1976年というところの田中角栄元首相がロッキード事件に絡み逮捕されたり、三木・福田赳夫内閣、歌の世界では子門真人唄う「およげたいやき君」が大ヒットした年。小生若干32歳。山家農家の跡取りということで青春を賭けた柑橘園はアメリカからのオレンジ自由化で大失敗、失樂園の真っ最中(違うかな)、何で飯が食えるのかなと迷っていたころ、時代は田中首相の置き土産「日本列島改造計画」とかで、未曾有の建築ブームとなっていた。

そんな時、近所出身の先輩がやってきて、建設会社を創るので協力して欲しい、とりあえず本社は拙宅ということなので近場ならばと始まった頃、相前後して遠縁にあたる故内野(高)会長さんが来られて、ロータリークラブに入るようにとのこと。山育ちの純朴無知な男であっても、異次元の世界位は分かっていたし、女房は初子を身ごもっていたので丁重にお断りしたつもりだったのが、その後まもなく隣家の故石渡弉郎先生がおいでになりいつ辞めても構わないの条件付きでの入会となりました。

入会してまず驚いたのは、年配のいいおっさん(失礼)達が大きな声で歌を歌いだしたことです。(宗教団体かとも)しかしその前後には小生の母親(大正8年)と尋常小学校の同級生が3名も来られ、声を掛けて頂き安心しました。(葉っ葉ではありませんが初めの声掛けは利きますよー)。

しばらく例会は親子教室模様から違和感も和らぎ、しかも男のみの例会は、今では声高には話せない「いいお話」も勉強になりました。

ところが数年して会社の営業は千葉市を中心に行う事になり、車で1時間半も掛ることに。今と違って高速の無い時代裏道を縫うように通いました。また工事現場には千葉市内は勿論、都内・成田・遠くは銚子・潮来等々1年に走行kmは4万にもなったかと記憶しています。

そんな状況下、数年してクラブ幹事の役がまわってきました。まだ事務局員の居なかったころ、今思うとどうやり繰りしたのか記憶も朧ですが、一度朝暗い内に出て、千葉市北部長沼の工事検査を早く終え、千葉駅から特急で例会に間に合わせ、終了後また千葉へ。(若かったなー)いつ辞めようと思いつつもそんなこんなで40年、優柔不断が幸いしたのか、取り巻きに恵まれ過ぎたのか、今もって卒業できない私。

初代笠原会長ではないが費やした金と暇はどれ程だろう。人生に見合ったのか…。いよいよここに至り老いの繰り言をいうような年になってしまったが、もし仮にロータリーと無縁の生涯だったとしたら、どれ程ステキな人生が開けたというのだろうか。

一足先にお舟入りした諸先輩が天国から心配して言ってくれています。「まずバクチにのめり込みや商売の失敗・或いは自由気ままの自堕落暮らしの挙句、酒に溺れ性悪女に騙される・投資投機話の被害でスッテンテンの何れか、または重複、そんなところだよお前さん、ロータリーにいたかからこそ大きな間違いをせずにここまで来れたんだよ」と。そう沢山の方々の御縁でここまでやっとなれた愚生であります。



「50周年に思う」

千葉一利

1) 友は我が師

私と高校同期の会員が3人いる。(敬称略) その一人の三枝が、私が退職する前後年、次のように教えてくれた。「退職したら今までお世話になった社会に恩返しをしよう。」もう一つは「パーキンソン病はすべてが消極的になる。なるべく人の中に出るように」この2つの言葉が私の老後の生きる指針となった。その実践化について、恩返しの奉仕活動は、チャーターメンバーの志波に教えてもらった。また、高島とは趣味が合って兄弟のように付き合い、集団意識の持ち方、活動の在り方など教えられた。「奉仕活動をしよう」、「集団への積極的な参加」これらの指針を与えてくれたのは三枝であり、この実践化を教えてくれたのが志波、高島である。「まさに友は我が師である。」みんなに迷惑をかけながら、歩けなくなるまでこの活動を頑張りた

2) 愛の宅配便ロータリー

“愛、屋烏^{おくう}に及ぶ”という。愛の強さを述べている。愛とは、漢和大辞典には、いとおしむ、めでる、おしむ…、大辞林には、いつくしむ、たいせつにする…とあった。

そういう思い、即ち愛は多少の強弱の差こそあれ、あらゆる生物は種族保存・繁栄のため本能として持っている。この愛とロータリーはどんな関係があるのだろうか。

ロータリーの活動の中心は、もちろん奉仕活動であろう。奉仕活動する場合の考え方の原点は「いとおしむ」、「めでる」、「いつくしむ」、などの心であり、それは愛だと思う。即ち、奉仕活動は愛を届ける活動である。

ロータリーは愛の宅配便である。では、どうして届けるか。愛を形にして届けるのである。それは、励ましの言葉、労力、物、お金など。

なお、奉仕には五つの分野がある。それと愛との関係は次のように考える。国際、社会、職業奉仕、すなわち人類愛、隣人愛など。青少年奉仕すなわち友愛など。クラブ奉仕すなわち親子の愛、夫婦愛、兄弟愛など。

そして奉仕活動で気を付けたい基本的な考え方は四つのテストである。「みんなに公平か」、「みんなのためになるか」そして世界が平和になることである。

私たちは50年間愛を届けて来た。立派な社会貢献である。その活動の自信と誇りをもって、これからも私たちは活動を続けていく。



「私とロータリー」

志波 克

昭和30年代の頃、家業の布団綿製造卸で木更津市内を配送中、何の行事だったかロータリーの立て看板を見て、木更津にもこんな社会があるのかと思ったのがロータリーとの初めての出会いでした。

年を経て、大佐和町（現富津市）にロータリーが出来るから入りませんか、ゴルフ仲間で人生勉強の師だった笠原さんに誘われ、一も二も無く入会しました。

ロータリーについて一通り話を聞いたはずですが、出席が厳しい事以外何も分からず、一つ覚えのメイクアップをフルに使ってひたすら100%を続けました。途中で例会出席の意義に疑問を感じたこともありましたが、頭数が居れば壇上で話す人も張り合いがあるだろう、員数に徹しようと考え出席を続けてそれがクセになり、結果37年無欠席となりました。

大佐和ロータリークラブで始まり、10年目に富津中央ロータリークラブと改名し、今年で通算50周年を迎えたわけですが、私にとって特に思い出深いことは、交換学生事業に熱を入れたこと、実行委員長として創立25周年記念大会をピアノコンサート付きで挙行し無事盛会裡終了したこと、そして12、3年前、偶々会報委員だった時、会報の印刷屋さんが蒸発、佐藤信泰委員長に仕向けられ自作を始めた会報が軌道に乗ったこと等です。

創立時には最年少だった私が50周年の今、最年長となった事から確かに長い月日が経過したのですが、振り返るとそれは圧縮され一瞬の感です。

それでもその中から時々顔を出すのは、ロータリーでの旅行の思い出です。

姉妹クラブ訪問、国際大会参加名目の旅行は記憶の中から鮮明に抜き出せます。姉妹クラブでは、塩山、嘉義、トランス、国際大会は東京、メキシコシティー、メルボルン、シンガポール、大阪、モントリオール、バンコク。その他、時に応じた一泊や日帰りの旅行、その間の仲間同士の交歓が楽しい思い出になります。

入会15年後の会長就任時に読んだ決議23-34の「ロータリーは一つの人生哲学であり、利己的な欲求と他人のために奉仕したいと言う感情とのあいだに存在する矛盾を和らげようとするものである。」の言葉に、価値観の違う人の集まりを運営するには、言い難いこともはっきり言わなければならないのだと感心したのも又別の思い出です。

忘れてならないのはロータリーで触れた多方面の方々の薫陶、交際が、私により広い世界を与えてくれたことです。これは何事にも代えがたい有り難いことです。今後は奉仕活動に、より積極的に携わり、少しでもお返しをしたいと思う次第です。



「ロータリークラブと私」

高島治雄

私は平成5年、三枝会員のご紹介でこのロータリークラブに入会しました。この50周年を迎えて24年目になります。チャーターメンバーの志波会員をはじめ、三枝会員のほか多数の同窓生がおり、偶然にも私と同職・同窓の千葉会員が同時期に入会し、まさに例会ごとに同窓会みたいな錯覚を持ったものです。今では千葉会員とは共に趣味を楽しみ、語り合う、兄弟より密に接している友となっています。

私がロータリークラブを最初に知ったのは、アメリカでの研修中に Home Stay していた家のご主人がロータリアンで、時に例会に連れて行ってくれました。ここでアメリカだけでなく世界中にロータリークラブがあることを初めて知りました。その後私の上司であった石渡式郎会員との出会いや、当クラブで卓話をさせていただいたことなどもあり、ロータリークラブ入会のお誘いがあった時にはスムーズに入会したことを覚えております。

当ロータリークラブは、初代笠原会長語録なるものがよく紹介されます。ロータリアンとしての心構え、ロータリー活動の価値等々、

当クラブの礎になるものです。(具体的にはチャーターメンバーの志波会員より紹介されると思うので省略) その思いが、時がたっても伝承されております。仲間を認め合うこと、奉仕の思いが豊かであること、まさに私が思うロータリーの根幹、親睦と奉仕そして四つのテストの心を備えているクラブだと自画自賛しています。

また当クラブは国際感覚にも富み、アメリカトランスのRC、台湾の嘉義南扶輪社、台南西扶輪社また、国内では山梨塩山RCなど古くから姉妹クラブ、友好クラブなどと今もって親交を深めあっているのも特色の一つですし、かつては、よく交換留学生の Home Stay を引き受けたクラブでもあります。最近はちょっとありませんがこのようなロータリークラブでの例会や奉仕活動、そして親睦会などを通して多様な個性や人間性を持った人々と接し合い自己充実をさせていただいていることに私は幸せを感じています。当クラブは90歳を超える会員が多くいらっしゃいましたので、現在85歳を過ぎた高齢者会員ですが私も心身共に可能な限りロータリアンを続けたいと思います。



「創立50周年の思い出」

三枝一雄

私は故藤村義朗名誉会員の紹介で、入会致しました。藤村氏は、もとスイス駐在武官で戦時中、アメリカの諜報機関と極秘の和平交渉を行った事で知られました。戦後、貿易会社を立ち上げ、富津市大和田に工場と別邸を建て、当クラブとカルフォルニアのトーランスクラブとの姉妹提携を結ぶ事に尽力した人です。私にとっては総合人間学モラロジーの恩師にあたります。

私はそれまでロータリーやライオンズに誘われても忙しいと断り続けていましたが、恩師の一言で『ハイ』と素直に従ってついていったままでです。その頃丁度、当クラブの前身である『大佐和 RC10周年記念式典』の準備中でした。早速、新人は何かの役割につくことになり、その式典で『物故者への哀悼の言葉と黙祷』を命じられました。

故松本剛会員によれば、私の声が一番追悼に向いている？という理由だそうです。追悼に向いた声と言われたのは初めてで、何だか妙な気がしたのですが、何しろ新人ですから、ノーと言えません。松本会員は有名な『松本ピアノ』のご出身で、ピアノの指導や調律のベテランと聞いていたので、音や声の質に敏感なのでしょう。何はともあれ、家に帰って言われた通りの練習をします。『嗚呼、悲しい哉・・・』

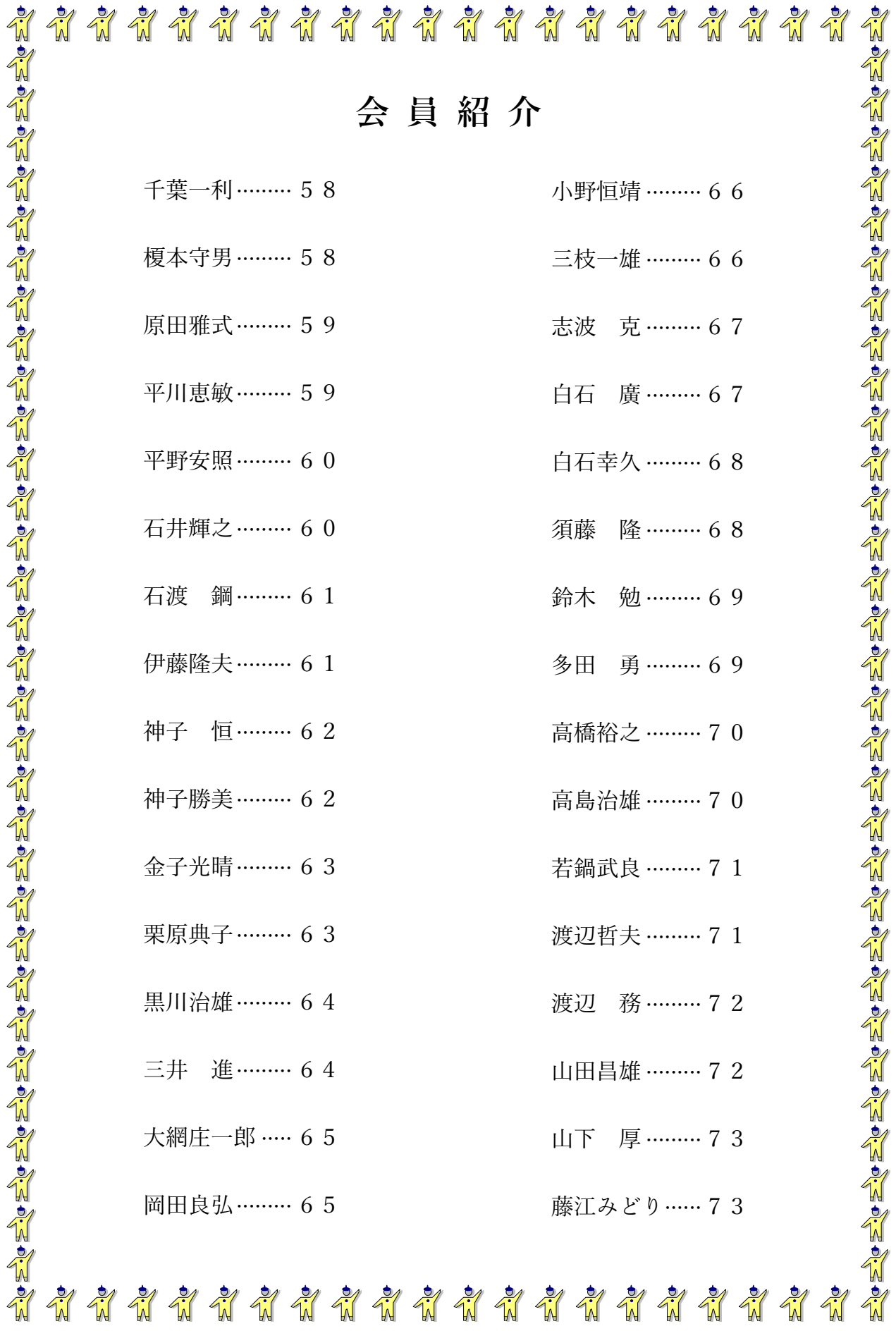
で始まる松本流の厳粛にして古色蒼然たる名文です。私も間違えてはならぬと真剣に読めば読むほど、妻が不謹慎にも笑い出す始末で、しっかり読むのに苦労しました。

会報担当の時は自称『トロッコ』という刈込碩弥さんの指導を受けました。刈込さんは元ロータリーの例会場になっていた『さざ波館』のご主人ですが、戦前は旧朝鮮で理科の教師をしたり、戦後は地元の市議会議員になったり、著書も多数。一流の文化人とも交流のある知識人です。トロッコとは汽車の手前、記者の一步手前だという謙遜の意味でした。例会の度に、この人から色々な事を教えられました。毎回、録音テープを何度も聞いて『卓話』の原稿を起こすのは専門外の知識を得るのに随分為になりました。ただ、手伝った妻は耳から血が出たりして、もうコリゴリだと言っていました。

創立すでに50年、振り返って多くの先輩はすでに亡く、私も癌の為、舌の一部を切り取られたので、もう追悼の美声？は望むべくもありません。往時を偲んで黙すのみです。

秋惜しむ 創立早も 五十年

かずを



会 員 紹 介

千葉一利 …… 5 8

榎本守男 …… 5 8

原田雅式 …… 5 9

平川恵敏 …… 5 9

平野安照 …… 6 0

石井輝之 …… 6 0

石渡 鋼 …… 6 1

伊藤隆夫 …… 6 1

神子 恒 …… 6 2

神子勝美 …… 6 2

金子光晴 …… 6 3

栗原典子 …… 6 3

黒川治雄 …… 6 4

三井 進 …… 6 4

大網庄一郎 …… 6 5

岡田良弘 …… 6 5

小野恒靖 …… 6 6

三枝一雄 …… 6 6

志波 克 …… 6 7

白石 廣 …… 6 7

白石幸久 …… 6 8

須藤 隆 …… 6 8

鈴木 勉 …… 6 9

多田 勇 …… 6 9

高橋裕之 …… 7 0

高島治雄 …… 7 0

若鍋武良 …… 7 1

渡辺哲夫 …… 7 1

渡辺 務 …… 7 2

山田昌雄 …… 7 2

山下 厚 …… 7 3

藤江みどり …… 7 3

千葉一利



生年月日 昭和7年7月25日
入会日 平成5年5月1日
職業 元中学校長(郷土史研究)
趣味 工作 囲碁
性格 おとなしい
座右の銘 変化に対応

自己PR一言

「家族」

我が家には二人の娘がいる。次女は木更津に、長女はごく近くに。偶然か意図的か二人とも親の近くに居を構えた。そして子供が二人ずつ生まれた。

今は私たちにとってその孫の成長が唯一の楽しみになった。幸い四人とも健康で小、中、高に行っている。いつまで見届けられるか？

榎本守男



生年月日 昭和25年12月3日
入会日 昭和57年7月17日
職業 貨物輸送
趣味 ゴルフ 麻雀 ギター
性格 こだわらない事
座右の銘 Que Sera, Sera

自己PR一言

「私の青春時代」

“♪青春時代は～夢なのか～

後からほのぼの思うもの～♪”

自分の青春時代はアツと言う間に過ぎ去り、子供達の青春時代も今は遠い昔の事、今は孫達が振り返ってよかったと思うような青春を謳歌してほしいと心から願う老境に入りました。

みんなに「青春は短い宝石の如くにしてそれを惜しめ」同学の倉田百三先生の文学碑の言葉を贈りたいと思います。

写真は山中湖からの帰途、遅れて来た者、先に帰る者を調整して御殿場でこの写真を撮影しました。東の間の全員集合11人です。

原田雅式



生年月日 昭和 22 年 2 月 15 日

入会日 平成 18 年 2 月 23 日

職業 社会福祉介護

趣味 秘湯めぐり、映画観賞

最近印象に残った映画

デンゼル・ワシントン「イコライザー」

スティーブ・オースチン「ザ・ダメージ」

性格 真面目、温厚、せっかち

座右の銘 及ばざるは、過ぎたるより勝れり

自己PR一言

「ロータリーへの想い」

ロータリークラブに入会して10年を超えました。入会当時は会員が23名位でしたが、その後20名を切り18名となりました。最近では順調に会員増強ができ、現在は31名です。

ロータリーでは職業上の肩書きはなく、社長も一介のサラリーマンでも平等。それぞれに割り振られた委員会の役割を果たし、会員が共に一つの目標に向かうという感じです。

日本の縦割り会社組織とは少し雰囲気違います。私も10年を経過しましたが、このロータリーは奥が深く、まだまだ分からないことばかりです。今後とも「超私の奉仕」を勉強し実践していかなければと思います。

平川恵敏



生年月日 昭和 24 年 8 月 24 日

入会日 平成 29 年 1 月 1 日

既入会歴 29 年

職業 歯科医師

趣味嗜好 読書 ゴルフ 酒は嗜む程度。誘われれば断れない。

性格 自分では根が真面目で温順な性格であると思っているが、

それが裏目に出ることがある。家庭内では「わがまま」だと言われている。

座右の銘 忘己利他（もうこ・りた）

自己PR一言

「私にとってのロータリー」

私の部屋には30年前より「四つのテスト」が掲げてあります。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」。

私の職業生活、個人の原点にすっかりロータリーを感じるどころです。特にこの1年半の間、退会という形でロータリーを離れてみて、心身ともにそれを感じます。年齢を問わず、親しく活動を一緒にして下さった先輩方や長年の仲間達にしみじみ感謝しています。

今やロータリーは家族や仕事同様、体の一部になっていることとしました。毎週の例会出席から始まる日常の大切さを思い、これからもまた新たにそして末永くロータリー活動を続けてまいりたいと思っています。よろしくお祈りします。

平野安照



生年月日 昭和 47 年 2 月 19 日
入会日 平成 25 年 5 月 2 日
職 業 郵便事業
趣 味 禁煙 ダイエット
性 格 心配性
座右の銘 諦めたらそこで試合終了

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

私が富津中央ロータリークラブに入会して、早 4 年が過ぎようとしています。

ロータリークラブでの活動を通じて、業種、世代を超えた方々との交流を持つ事が出来ました。人生経験豊富な先輩方からの助言を頂く機会が多々有り、ロータリアンとしてだけでは無く、自分自身の成長にも繋がっています。

今後多く多くの事を学び、若い世代に富津中央ロータリークラブの精神を引き継いでいきたいと思っています。

石井輝之



生年月日 昭和 38 年 5 月 1 日
入会日 平成 28 年 6 月 9 日
職 業 運送業
趣 味 特になし 模索中
性 格 自称温和
座右の銘 継続は力なり

自己 PR 一言

高校卒業後、木更津の建設資材及びレンタル関係の会社に就職し、最初は 2 トン車から始まり、4 トン車、大型車、トレーラと年数を重ねるごとに車が大きくなりました。

勤めてから 20 年目になる年に会社が倒産 3 年半世話になり、その後起業しました。

最初大型車一台を購入し、2 年毎に車両を増車して現在トレーラをはじめ 6 台になりました。

これからも少しでも大きくなり、前に進んでいけたらいいなと思います。

これからもよろしくお願いします。

石渡 鋼



生年月日 昭和 19 年 2 月 10 日
入 会 日 昭和 51 年 10 月 25 日
職 業 建築請負
趣 味 ゴルフ カラオケ 工作
性 格 B 型 散漫 小器用
座右の銘 今日という日は残りの
人生の最初の日

自己 PR 一言

「例会場を飾った著名人」

入会して間もないころかと記憶も薄れてきましたが、オリンピックのメダリストそれも 3 名が相次いで訪問されました。

順は不同ですがまずは織田幹夫、西田修平の両氏。織田氏は御存知アムステルダム五輪三段跳び、日本人初の金メダリスト。西田氏は我々世代の小学校の国語教科書に載っていた「友情のメダル」のお一人で、ベルリン五輪で大江季雄選手と銀と銅メダルを半分に分けて、分かち合ったその人。

その後には同ベルリン五輪のマラソンの覇者孫其禎氏（韓国統治時代）。いずれの方々も共通するのは、案内された元会員故白井長五郎氏を含め、皆早稲田大学競争部の OB。ロータリーって凄いところと思ったことでした。

伊藤隆夫



生年月日 昭和 27 年 2 月 14 日
入 会 日 平成 26 年 8 月 7 日
職 業 総合商社
趣 味 ゴルフ 麻雀 カラオケ
性 格 温厚
座右の銘 決断と実行

自己 PR 一言

クラブ創立 50 周年おめでとうございます。節目の年に、会員であることを誇りに思います。

私も早いもので入会して 2 年が過ぎました。折角入会した富津中央 RC の例会ですが、新規事業の立ち上げもあり、仕事に追われて出席できないのが残念です。

夜間例会、クラブのゴルフ会、炉辺会合、麻雀大会等には出来るだけ出席して会員との親睦を図りたいと思っています。

早期に毎例会出席できるように後継者の育成に励んでおります。

神子 恒



生年月日 昭和 23 年 3 月 1 日

入 会 日 平成 28 年 7 月 7 日

既入会歴 25 年

職 業 保険業

趣 味 スキューバダイビング
(インストラクター)

性 格

座右の銘 動かなければ何も始まらない。
おかげさま。

神子勝美



生年月日 昭和 29 年 4 月 2 日

入 会 日 平成 28 年 7 月 7 日

既入会歴 1 年

職 業 革新農業

趣 味 社交ダンス 卓球

性 格 温厚 めったに怒らない

座右の銘 公言実行

自己 PR 一言

「人生明るく」

人生は一回しかありません。暗く過ごしても一生、明るく過ごしても一生、だったら明るく過ごしたほうがいいではないか。

私が今まで実践したことは、

- ① 誰にでも積極的に挨拶すること、
- ② 何に対しても素直になり「すみません」「ありがとう」が言えること、
- ③ 何事にも明るく前向きに取り組むこと。

以上のことを実践し、ロータリー活動に活かさないかと思いついたのが「明るく、元気に、前向きに一步前進」の言葉でした。

前向きに一步前進の精神でロータリー活動に取り組んでいきます。

金子光晴



生年月日 昭和 53 年 1 月 10 日
入会日 平成 26 年 5 月 1 日
職 業 自動車教習所
趣 味 ドライブ
性 格 マイペース
座右の銘 七転び八起き

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

家族は私、妻、長男、長女の 4 人です。

私にとってのロータリーは一期一会を大切にしながら、新たな気づき、考え方、価値観を得られる場だと思っています。

栗原典子



生年月日 昭和 35 年 7 月 5 日
入会日 平成 26 年 5 月 1 日
職 業 飲食業
趣 味 ピアノ 日本舞踊
ゴルフ
性 格 明るい 諦めが早い
情にもろい
座右の銘 みんな違ってみんないい

自己 PR 一言

「私の近況」

ロータリーに入会して 3 年目になりました。中身の濃い活動の中で、新たな体験を通して少しでも皆さんに馴染めるようになったことに感謝します。

今年はインフルエンザに始まり、仕事は勿論、ゴルフ、日本舞踊、スキー、姪の結婚式、同級生旅行、月 1 回の通い妻。

今年も全力投球でスタートしました。

黒川治雄



生年月日 昭和 14 年 11 月 1 日

入会日 平成 28 年 7 月 7 日

既入会歴 14 年

職業 旅館業

趣味 ゴルフ 野球 (高校野球)
(大リーグ観戦)

性格

座右の銘

自己 PR 一言

「療養後の復帰楽しみ」

昨年 7 月入会させて頂き、和気あいあいの素晴らしいムードの中でロータリーの良さを実感させていただきましたが、最後の療養をしたらしばらく休むことになり、ご迷惑をお掛けしております。

3 月中は治療をしており、桜の咲くころには、復帰できると思います。楽しみです。

三井 進



生年月日 昭和 26 年 1 月 10 日

入会日 平成 17 年 7 月 7 日

職業 観光事業

趣味 洋ラン栽培

性格 比較的誠実

座右の銘 自然体

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

ロータリークラブには 10 年強お世話になっています。よき仲間に出会え、良い機会を得られたと感謝しています。

会社生活 43 年、銀行で 30 年、そして現在の観光牧場で 13 年。まるで環境の違う職業で、人の笑顔を見ることが仕事のやりがいとなりました。

二つの職業を経験できたことに感謝！そしてロータリーの素敵な仲間に出会えたことに感謝！

大網庄一郎



生年月日 昭和 14 年 6 月 17 日
入会日 平成 16 年 7 月 1 日
職 業 社会福祉（元銀行員）
趣 味 特になし
性 格 温厚？
座右の銘 誠実

自己 PR 一言

「私の家族」

当クラブの記念すべき創立 50 周年記念式典に妻、子供、孫の 3 代が準備運営に参加させてもらい、有難く思っております。

岡田良弘



生年月日 昭和 33 年 12 月 28 日
入会日 平成 28 年 7 月 7 日
職 業 建設業
趣 味 ゴルフ旅行
性 格 明るい
座右の銘 継続は力なり

自己 PR 一言

「私の大切なもの」

私の家には現在、4 匹の猫がいます。それぞれに性格が違い、見ていて飽きません。

私にとって猫は毎日の疲れを癒してくれる大切な存在です。

小野恒靖



生年月日 昭和 18 年 10 月 19 日
入会日 昭和 61 年 3 月 1 日
職業 物療科医
趣味 スポーツ 楽器演奏
日曜大工 家庭菜園
性格 明るく快活である
座右の銘 寛容 忍耐 感謝

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

多くの知識人と知り会えたことが私の宝物になっている。クラブ内においてもたくさんの役職を経験させていただきこれも私の財産になっている。

私にとって例会場は道場であり、人間研修の場でもあった。ロータリーという学問は奥が深い。人生死ぬまで勉強、まだ途中経過である。幸運なことは家族に恵まれたことである。

三枝一雄



生年月日 昭和 7 年 10 月 12 日
入会日 昭和 51 年 7 月 1 日
職業 病院
趣味 俳句 卓球
性格 自己中心 わがまま
狭い正義心
座右の銘 気付き 素直 感謝

自己 PR 一言

「観を磨く」

私は一人っ子でわがままに育ち、自己中心的な狭い正義感をもって他人のわずかな過ちを批判していました。

当クラブ名誉会員故藤村義朗氏からモラロジーという総合人間学を学び、氏の感化を受けて新しい観に気付き、素直に実行の真似事をして人生が少しずつ変わりました。

振り返って多くの人に育てられて自分があることに感謝しています。さらに「死生観」「ロータリー観」などを学び、良い晩年を過ごしたいと思います。

志波 克



生年月日 昭和6年11月30日
入会日 昭和41年10月13日
職業 自動車教習所
趣味 読書 旅行 ゴルフ
性格 なるべく明るく過ごそう
と思っている。
座右の銘 着眼大局着手小局

自己PR一言

「ロータリーでの思い出」

- ・入会以来37年間無欠席だったこと。
- ・オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカからの交換学生と、カウンセラーとして、10数年間関わり合ったこと。
- ・創立25周年のピアノコンサート付き記念大会を実行委員長として無事好評裏に挙行できたこと。
- ・良い仲間達との国内2都市、海外5都市での国際大会参加と付随の観光旅行。
- ・会報の自作を始めて12年、作成可能会員も増え軌道に乗ったこと。またホームページを立ち上げ、会報を年度別に収録、卓話等の個人別索引を付加したこと。
- ・交換学生、R財団、米山、会報等に関わりの深い時々、地区表彰を受けた事。
- ・そして、笠原文雄初代会長から榎本守男第51代会長まで多くのロータリアンの優れた人格人徳に触れ啓蒙された事（感謝）。

白石 廣



生年月日 昭和17年5月23日
入会日 平成27年9月10日
職業 土地改良区 農業
趣味 大相撲観戦
(日本横綱誕生を喜ぶ)
性格 おとなしい性格は損する
も、友達に恵まれ何事にも
断れない。

座右の銘 常に思いやり心を忘れない。

自己PR一言

「私の近況」

風邪をひきもやもやした気分がおさまらず、朝一番で病院の診察を受け、風邪薬と糖尿の薬を処方してもらった。病院からは何も変わったことは言われず、胃カメラの予約を告げられ、診察を終わる。

さあ、これからロータリークラブの例会だ。週3日は土地改良区の役員として出勤諸行事に参加する。暮れから忘年会続きで体調を崩し、子供たちに心配をかけた。年が明けても仕事は待ってくれない。自分に鞭を入れていろいろな決め事をし、頑張らねばならない。

とにかく健康第一で今の役割を全うすることだ。

白石幸久



生年月日 昭和 22 年 5 月 27 日
入会日 平成 8 年 8 月 22 日
職業 税理士 農業
趣味 散歩 自然薯堀 鉄棒
性格 小心者 少々茶目っ気あり
目覚まし時計不必要
座右の銘 三教指帰の序文

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

ロータリーは、親睦を深め、そして理念を学ぶところであると言われている。しかし前者は理解できるが、後者はある出来事が起きるまではなかなか理解できなかった。

前門の虎、後門の狼ではないが、職業につき法律の下で仕事をするときにはそれを順守しなければならないことは当たり前のことであるが、完璧を求められるがゆえに、解釈の相違や資料不足だったことにより訴訟になることがある。

職業的には「独立した公正な立場」を貫かなければならない。ここで言動はこれらに照らしてから「真実かどうか」、「みんなに公平か」、「好意と友情を深めるか」、「みんなのためになるかどうか」の四つのテストによって助けられる。

須藤 隆



生年月日 昭和 18 年 11 月 9 日
入会日 平成 20 年 7 月 6 日
職業 元会社役員
趣味 囲碁 旅行 散歩
ぼけ防止に外国語の勉強
性格 一見温厚で鷹揚なようだが、年を取るにつれてせっかちになる。

座右の銘 是々非々

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

ロータリーに入会して 8 年、多種多様な会員との交わりを通じ、自分と異なる価値観に触れ、人に対する寛容な気持ちと多様性を実感する。

また、ロータリーの役職に真摯に向き合うことにより新たな経験が自分自身の成長につながっている。

鈴木 勉



生年月日 昭和 35 年 7 月 14 日
入会日 平成 27 年 2 月 5 日
職 業 千葉信用金庫
趣 味 ギター ゴルフ
性 格
座右の銘

自己 PR 一言

「ロータリークラブの中の私」

私は富津中央ロータリークラブでは法人会員です。いつかは転勤となり、新しい千葉信用金庫大佐和支店長にバトンタッチしなければなりません。

そんな私が、クラブ創立 50 周年という節目に巡り合い、周年行事のお手伝いが出来た事は本当に幸運でした。いつか皆さんがこの 50 周年記念行事を振り返った時、「あの時は鈴木さんがいたな」と思い出してくれたら嬉しく思います。

皆さんの記憶に残る会員でありたい。そんな願いを込めた一言 PR は「歌って踊れる銀行員 鈴木 勉」です。

多田 勇



生年月日 昭和 32 年 10 月 5 日
入会日 平成 24 年 7 月 26 日
職 業 水道資材販売
趣 味 オートバイ ゴルフ
性 格 短気 内向性
座右の銘 常に改善、常に前進

自己 PR 一言

「私の職業観」

仕事とは家族を養うため、また生活に必要な対価を得るための手段だと思えます。確かに大金を持っていれば生活も楽ですし、こころにも余裕ができるかもしれませんが、無理をして体を壊したり、精神的な病になるところまで自分自身を追い込んでしまうことは、望むものでもありません。

いつも楽しく笑みが自然に出てくる仕事場にすることが今一番の改善事項だと考えています。

高橋裕之



生年月日 昭和 35 年 10 月 30 日
入 会 日 平成 3 年 7 月 18 日
職 業 水道工事
趣 味 SAX オートバイ
性 格 八方美人で、頼まれると
断れない。
座右の銘 前向きに生きよう

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

創立 25 周年式典の年に入会し、今回、創立 50 周年記念実行委員長を仰せつかりました。25 周年では駐車場係でしたので、出世したものです。30 歳で入会した当時は、見るもの聞くもの目新しく、また、バブル期真っ只中という事も有り、華やかなチャーターナイトにも何度も参加し、地区大会では必ず、友愛の広場でお酒を戴いたものです。25 年の歳月が経過し、国際社会も、ロータリーも、そして自分自身も様変わりしました。ロータリアンになっていなかったら、我がクラブに入会していなかったらなど、今では考えられません。

入会当時、休みがちだった例会も今では概ね 100% 出席で、木曜日が待ち遠しくなりました。

人として少しは成長したとは思いますが、ロータリアンとしては、まだまだ半人前なので、次の 25 年間もロータリアンとして学んで行きたいと思います。

創立 50 周年式典参加の全員の皆様に、深く感謝申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

高島治雄



生年月日 昭和 7 年 5 月 6 日
入 会 日 平成 5 年 5 月 1 日
職 業 元中学校長
趣 味 陶芸 歌うこと 料理
麻雀
性 格 温和、ときに短気
座右の銘 自然は万古、人生僅か百年

自己 PR 一言

「私にとってのロータリー」

現在までに出会ったそれぞれの個性を持つ会員との交わりは私にとってとても寛ぎの場であり、そして大変刺激を受けた場でもある。

若鍋武良



生年月日 昭和 18 年 10 月 21 日
入会日 平成 22 年 3 月 11 日
職 業 元高校教員
趣 味 旅行他
性 格 寛容
座右の銘 継続は力なり

自己 PR 一言

「趣味五年」

今まで趣味で始めた様々な体験が私の生活に潤いと活力を与えてくれました。45歳の年に剣道を、50歳の年に登山を、55歳では油絵を始めました。

60歳定年になり、憧れていたラテン系の国々に行こうとスペイン語を習得しました。65歳でラテン系の言語、70歳からは中国語と結局5年ごとに新たな趣味を重ねてきました。

これからは趣味三年として、スポーツ系・芸術系の趣味を増やし、心豊かに健康に生活したいと考えています。

渡辺哲夫



生年月日 昭和 25 年 11 月 2 日
入会日 平成 26 年 5 月 1 日
職 業 元市役所職員
土木指導相談
趣 味 読書 スポーツ 旅行
性 格 温厚
座右の銘 有言実行 七転び八起き

自己 PR 一言

「私の基本スタンス」

私は一見すると、とらえどころのない印象を与えるかもしれませんが、「論より証拠、言葉より行動」これが私の基本スタンスです。

渡辺 務



生年月日 昭和 36 年 4 月 25 日
入会日 平成 6 年 1 月 1 日
職 業 住宅建材販売
趣 味 読書 バドミントン
性 格 あまのじゃく
座右の銘 人に信頼される事

自己 PR 一言

「ロータリーから得たもの」

私はロータリー入会以来、様々な交流を経て、素晴らしい先輩たちから多くの事を学ばせて頂きました。

私にとってロータリーは、様々な気付きをあたえてくれる玉手箱のようなもの。そこに参加することで新たな発見をし、自己研鑽につながる場であるということが、日々忙しい生活の中でも今日まで 20 年以上会員を続けられている要因だと思います。

これからもこれまで以上の「人」との出会いがあると確信していますし、そのように行動したいと思います。

山田昌雄



生年月日 昭和 22 年 10 月 1 日
入会日 平成 21 年 1 月 1 日
職 業 団体役員 陶芸家
趣 味 釣 料理
性 格 せっかち 粗忽者
座右の銘 道探る

自己 PR 一言

「古希を迎えて」

この秋 70 才になります。正直自分の人生に誇れるものは何もありませんが、強いて言えば、「家族」、「友人」という二つの宝を得た幸せです。

自分も少し変な人間と思っていますが、この年になって改めて周りの友人を見ると、一般的には少しねじが緩んだ人が多いようです。これが人生のゆとりと気付いたのはつい最近のことです。

「努^{つと}まされるな。」ロータリーの皆様とのお付き合いを通じて「人生のゆとり」をこれからも探っていきます。

山下 厚



生年月日 昭和 29 年 7 月 22 日
入会日 平成 27 年 4 月 23 日
職業 獣医師 中央畜産会農場
HACCP 主任審査員
趣味 大相撲観戦 読書 呑酒
性格 腹が黒い 調子が良い
座右の銘 天網恢々疎にして漏らさず

自己 PR 一言

「私の平和への思い」

私は長崎生まれ、隠れキリシタンの末裔。祖父の時代に仏教徒（浄土真宗）になるも全くの不信心。周りに多くの被爆者がいたこともあって、宗教・政治の枠を超えた「世界平和教」に対してだけは熱心な信徒であり続けたいと念じている。

20 世紀は戦争の世紀と言われ、1 億人以上が戦争、紛争で亡くなっている。実に自然災害での死者の 10 倍以上。ロータリークラブのテーマソング「奉仕の理想」にも「望は久遠の理想の平和」と謳われていることが嬉しい。

宗教、民族、国家を超えての「仲良きことは美しき哉」。

藤江みどり（事務局）



生年月日 昭和 42 年 2 月 17 日
入局日 平成 27 年 7 月 2 日
職業 富津中央 RC 事務局
趣味 旅行
性格 マイペース
座右の銘 不言実行

自己 PR 一言

「私の家族」

主人 | 温和で優しい。中 2 の娘が可愛くて仕方がない。

義母 | いつもニコニコ、行動はシャキシャキ。

長男 | 大学 2 年生。大阪で一人暮らし。

次男 | 大学 1 年生。八王子で一人暮らし。

長女 | 中学 2 年生。テニス部で全身日焼けで真っ黒。

（お嫁さんになれるかな？）

ナッツ | トイプードル（オス）、私には絶対服従。

6 人 + 1 匹で毎日ドタバタ過ごしています。

* 学年は 50 周年記念日現在

編集後記



50周年記念式典を終え、第一回の編集委員会を12月早々に開催し、記念誌予算の確認、構成、ボリューム、編集方針等を話し合った。限られた予算の中で、記念誌づくりにプロの助けを借りず会員の手作りで進めることとした。

会員個人のプロフィールには自己PR一言を記述してもらい、会員歴20年以上の方には、長いロータリー活動における思い出を綴って頂くこと等により、クラブとしての特徴ある記念誌にすることを編集方針とした。

休日や、例会終了後に編集会議を開催し、編集委員同士がそれぞれの記念誌に対する思いを出し合い、多種多様な意見交換を経て、委員全員の思いが込められた記念誌となった。

ここに本記念誌を上梓することができるのは、チャーターメンバーの志波編集委員が全体をまとめ上げる作業を引き受けてくれたお陰であることを申し上げなければならない。また高橋会員には、編集会議で、内容の追記や変更があるたびに60ページにもなる記念誌の原稿を委員数だけ印刷する労をとって頂いた。感謝に堪えない。

記念大会を終えて1年以上が経過したが、ここに記念誌を発行できることはこの上ない喜びである。（須藤）

編集委員長／須藤 隆

編集委員／志波 克、高島治雄、千葉一利、石渡 鋼、榎本守男、渡辺哲夫、山下 厚、高橋裕之

50th
Anniversary

例会場／いち川旅館 〒293-0043 富津市岩瀬 841-3 Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
Meetings at Ichikawa-ryokan 841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken, 293-0043 Japan
<http://www.futtsuchuo-rotary.org>

20171202